

校友会だより

2016. june vol.21

Shibaura Institute of Technology



芝浦工業大学校友会の概要と活動について

校友会は、昭和2年に発足しました。本部を東京都港区に設置し、海外（台湾・シンガポール・タイ王国支部・上海）を含む北海道から沖縄までの地域に居住している卒業生で構成される地域支部、官庁や企業などに在職や退職の卒業生で構成される職域支部、学科支部、研究グループ・スポーツ等共通するグループの卒業生で構成される同好支部など現在88の支部を組織し、本部と連携して下記のような活動を行っています。

なお、校友会の目的は、会則第3条、第4条にかかげられているとおり、会員相互の交流と親睦を深め、会員の社会活動の増進に寄与すると共に母校の教育研究事業を援助し、母校の発展に寄与することとしております。

平成27年度実施の校友会活動計画の一部を列記しますと

- 1、在校生への就職支援活動
- 2、在校生の研究・実習活動への協力・卒業生による実学サロンの開催
- 3、在校生主催「芝浦祭」・「大宮祭」への支援
- 4、入学生への校歌CDの贈呈
- 5、新卒業生への記念品の贈呈
- 6、母校開催父母懇談会への協力
- 7、母校開催のホームカミングデーへの協賛
- 8、母校開催の賀詞交歓会への協賛
- 9、母校記念事業への協力
- 10、箱根駅伝予選会出場への支援活動
- 11、校友会全国総会、賀詞交歓会の開催
- 12、校友会各支部への活動支援
- 13、全国卒業生の名簿編纂
- 14、資格取得講座の提供

などとなっております。また、来年度以降も各種の事業活動の協賛・支援等を含めさまざまな活動を行ってまいります。校友会は、これらの活動を通じて、芝浦工業大学の在校生、後援会及び教職員との連携及び協力関係を密にすることにより大学の社会的基盤をさらに強固なものとしたたく活動して参ります。今後とも校友会活動にぜひご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

芝浦工業大学校友会の概要と活動について	10
役員挨拶	
会長挨拶	1
委員会挨拶	
総務広報委員会	2
財務委員会	2
事業委員会	3
組織委員会	3
例規委員会	4
事業委員会	4
特別委員会	4
役員紹介	5
理事長挨拶	7
学長挨拶	8
建築学部 建築学科	
2017年4月開設予定	9
実学サロン	
第14回 実学サロン	12
第15回 実学サロン	14
第16回 実学サロン	16
第17回 実学サロン	18
支部活動報告	20
“支部旗”全国にひるがえる	32
校友会「会員名簿」2016年発刊について	32
常任幹事会、相談役・顧問名簿	34
支部及び支部長紹介	35
校友倶楽部のご案内	36
HP新機能紹介	37
資格取得講座のご案内	39
大学オリジナルグッズのご紹介	39
編集者・協力者紹介	40
御寄付の御礼	41
絵画御寄贈の御礼	41
在学生就職支援ご協力をお願い	42
広告	43

会長挨拶



芝浦工業大学 校友会

会長

鈴木 健夫

建築学科 昭和45年卒業

全国の校友の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動にご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年も6月11日（土）に昨年と同じ『ホテルイースト21』におきまして盛大に全国総会・懇親会が開催されることになりました。是非全国の卒業生、ご家族の皆様にご多数参加して戴き交流を深めて頂きたいと役員一同張り切っておりますので宜しくお願い致します。

さて母校は、来年の創立90周年に向けて『附属中高の板橋から豊洲地区への移転による中高大一貫の理系教育』、『建築学部のスタート』と未来に向けて理工系私学のトップランナーを目指して走り出しています。

また、今年は大宮キャンパス開校50周年、システム理工学部開設25周年の周年祝賀事業が予定されています。大宮キャンパス1期生の私としましては、大変感慨深く思うと共に、50年の歳月の過ぎ去る早さを実感しています。砂埃舞い散るキャンパスは、すっかり近代的なグリーンキャンパスに変わっています。大宮で学ばれた卒業生の皆様には是非新しい大宮キャンパスを見て頂きたいと思えます。

校友会は、昨年も大学のスーパーグローバル大学支援事業に合わせ、海外支部展開を進めてきました。7月にはタイ王国支部、10月には中国上海支部がスタート致しました。現在は、シンガポール、台湾と海外では4支部が活動しています。学生の海外インターンシップの紹介、留学生への支援活動を続けることによりスーパーグローバル大学として発展する母校を支援していくのと、今後益々増える卒業生の海外に於ける交流の場としていきたいと考えています。

校友会支部は、国内、海外問わず、それぞれの地域において芝浦工大の卒業生のネットワークを拡大し『OB力の発信』をしていくことが、大学の一層のブランド力の向上に繋がると考えていますので、是非卒業生の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

最後に卒業生、ご家族の皆様の更なるご繁栄、ご健勝を心から祈念申し上げます。

副会長・総務広報委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

林田 和雄

建築学科
昭和52年卒業

校友会歴

平成11年 常任幹事就任
平成15年 副会長就任 現在に至る

経歴

昭和52年 設計事務所勤務
平成11年 港区議会議員

平成26年の副会長就任より、今年で3年目を向かえます。

全国の校友の皆様には日頃、校友会活動にご尽力頂き、また様々なご助言をお寄せ頂き、あらためて御礼申し上げます。

この2年間は実学サロンの充実、校友会の情報発信力の強化を図り、全国の校友が一体となって、母校・芝浦工業大学を支援する体制づくりに努めて参りました。

折しも2017年は、芝浦工業大学創立90周年の記念すべき年となります。また学部学科再編を目指し、建築学部の開設が明年4月に決定しました。更には板橋区の附属中学高等学校が大学の近接地である豊洲に移転します。文字通り中高大一貫教育が実現します。

日本の児童・学生の理科離れが懸念されるなか、昨年はノーベル物理学賞では東京大学の梶田隆章氏が受賞し、日本中が沸き立った年となりました。

今ほど、世界をリードする人材の育成が、希求される時代はありません。芝浦工業大学は、社会の期待に応える大学として、今後も世界に飛翔する人材育成に貢献するトップランナーであると信じます。世界経済の発展は、一国の力だけでは為しえない状況であります。そうした社会を支えるのは「世界は一つ」と言う視点を備えた高邁な人格を育てる以外にありません。社会に実学をもって貢献するとの建学精神を実現すべく、今後とも皆様と共に歩む決意です。どうぞ宜しくお願い致します。

活動内容

- ・ 広報活動の充実
 - ① 校友会HPの充実
 - ② 各支部活動の支援体制の強化
 - ③ 校友会だよりの発刊
- ・ 実学サロンの開催
- ・ 職員の労働環境の充実

副会長・財務委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

神野 兼次

建築工学科
昭和49年卒業

校友会歴

平成20年～ 常任幹事
平成23年～ 副会長・例規委員長
平成26年～ 副会長・財務委員長

経歴

平成24年 戸田建設本社建築設備部長
平成24年～ 株式会社アベックエンジニアリング
代表取締役社長

副会長に選出されて丸4年間が経過しました。財務委員会は今期予算書及び前期決算書を全国総会にて承認を経て、承認された事業が執行されているか確認を行っております。今期は収入減で厳しい予算となっているため補正予算の必要性も含めしっかりフォローして参ります。

今後は来る90周年100周年に向けた校友会の取り組みに対しても、関連する委員会と調整を図り執行役員会・常任幹事会に議案を提出し議決を経て、対応して行きます。校友諸氏の御指導御支援宜しくお願い致します。

財務委員会活動（年2回）

- ・ 基本財産及び流動資産の整理、統合、管理の徹底
- ・ 予算書、決算書作成
- ・ 補正予算の対応
- ・ 会計監査対応

副会長・事業委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

畠中 總一郎

機械工学科
昭和43年卒業

校友会歴

平成25年 機械工学科同窓会支部長 退任
平成26年～現在に至る

経歴

現在 有限会社 ワンダー電機製作所
SEテクノ株式会社
代表取締役 社長

当職は事業委員会を任されておまして、一大イベントが、全国総会・懇親会の、企画、運営です。今年も、ホテルイースト21にて6月11日(土)開催いたします。イベントとして、年配の方々には、おなじみと思いますが、あの古賀政男さんの一番弟子アントニオ古賀さんをお招きして、盛大な懇親会にしたいと考えております。

また、事業委員会の役割は、本年は、終わりましたが、新年賀詞交歓会、田町キャンパスにある校友倶楽部の運営、大学行事への参加、企画等、特に全国総会においては、10万以上の卒業生がおる中、なかなか参加者が増えないのが現状で、少しでも参加者を、増やすよう今年も、パンフを作ってみました。また、早割り料金制度を導入したり、女性会員の、参加費を下げたりしております。

全国総会懇親会の参加は、ご家族さまは、何人でも無料です。たくさんのお参加をお待ちしております。

来年は、本学にとって創立90年の節目の年になりますし、今年の全国総会を盛り上げて、来年の90周年記念大会を、盛大に行なえるようこれからもがんばっていく所存です。これからも、皆様の、ご指導、ご鞭撻よろしく申し上げます。

事業委員会 活動内容

- 1) 全国総会懇親会の企画運営
- 2) 新年賀詞交換会の企画運営
- 3) 校友倶楽部運営
- 4) 他・大学開催事の協力等

副会長・組織委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

前野 和博

工業経営学科
昭和46年卒業

校友会歴

平成25年 硬式野球部OB会 支部長
平成26年 副会長・組織委員長

経歴

平成13年 (株)東芝北海道支社長
平成17年 三興電気(株) 代表取締役社長

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は組織委員会の活動にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

組織委員会の主な活動内容は下記に示すとおりですが、若手会員や女性会員の加入促進は喫緊の課題でありますし、母校が「スーパーグローバル大学」として国際化を目指しているなかで、校友会としても海外支部の立上げも重要な課題の一つであります。本学学生の海外留学や海外からの留学生の受け入れ、並びに教職員の女性進出の促進等が益々活性化されると思われます。昨年は87番目の支部として、バンコクにタイ王国支部が設立されました。近々に上海支部も設立される見込みです。今後も女性支部や同好会支部等の加入を積極的に展開するのは勿論ですが、従来からの主要施策であります本部と支部間の情報の共有や、後援会との連携強化を推進し、校友会組織の活性化・拡充を図りたいと存じます。校友会の皆様におかれましては、校友会と母校芝浦工大の益々の発展とグローバル化、ブランド力向上の為、なお一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。皆様のご健勝を祈念申し上げます。

組織委員会 活動内容

- ・ 組織の活性化・若手会員及び女性会員の加入促進
- ・ 本部と支部との連携強化。情報の共有化
- ・ 新規支部の開拓を推進。(H25年81→H27年87支部)
- ・ 後援会との交流推進(地域支部に展開)
- ・ 卒業生名簿の編纂(10年に1度名簿。各年は追補版)

副会長・例規委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

谷川 潮

機械工学第二学科
昭和 45 年 卒業

校友会歴

平成 25 年～ 東京総支部副支部長、多摩支部長就任
平成 26 年～ 副会長、例規委員、例規委員長就任

大学経歴

平成 26 年～ 評議委員就任（校友会選出）

経 歴

平成17年 東京いすゞ自動車(株) 専務取締役就任
平成21年～ 東京いすゞ自動車(株) 理事就任
平成21年～ いすゞ車体(株) 社長補佐就任

校友会副会長・例規委員会委員長として2年になります。例規委員会委員の皆様も2年になられ、法律的なものの考え方に長けた方々として活動に努力されております。

社会や、経済環境が大きく変化している現在、芝浦工業大学は取り巻く環境も大きく変化し、自らも格段の進歩と環境に併せた変革に取り組み大きな成果をあげております。我が校友会の活動も大学と社会環境に併せて変革を重ねております。例規委員会は校友会運営に必要と思われる実態の提起などを受け、実態に合わせた内容となるように諸規則の内容を見直し、役員会に提案、答申をしております。

更なる校友会同窓の輪を拡げてゆきたいと思っております。東京高等工商学校の大先輩方から卒業したばかりの新人会員の若い同窓生、そして海外で活躍されておられる方々まで、母校、校友会に関心を持っていただけるように情報交換を図りたいと思っております。大学、後援会、校友会が三位一体を作る中、積極的に現役学生の支援をしていきたいと思っております。校友会の皆様におかれましては引き続き積極的な在校生就職支援を頂き、更なる「芝浦ブランド力の向上、校友会の輪拡大」のためにご支援とご鞭撻を賜りますように宜しくお願いいたします。

例規委員会

例規委員会は平成 15 年 3 月 11 日に発足し、平成 16 年 6 月 19 日に例規集第 1 刊が発行され平成 24 年 10 月 10 日「芝浦工業大学校友会例規集」第 2 刊が発行されました。

例規集は校友会の発展とリンクし、全芝浦のブランド力の祖の一つに値するものと思っております。今後はその時々々の事象を受け止め校友会員の総意の基に民主的に運営、活動していきけるように検証しながら役割を果たしていきます。

副会長・特別委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

枝広 英俊

建築学科
昭和 46 年 卒業

校友会歴

平成 18 年～平成 23 年 常任幹事
平成 24 年～現在 副会長・特別委員会

経 歴

平成26年まで 母校建築学科教授
平成26年～ 母校名誉教授

副会長に選出されて約5年間が経過しましたが、多くの支部・会員のご支援のもと、陸上競技部駅伝ブロックが箱根駅伝に出場することを願い委員会活動を行ってきました。特別委員会が発足してから11年目を迎えておりますが、校友会員諸氏も御存知のように予選会に初出場できたのは、今から4年前の2012年になります。理事長・学長・教職員をはじめ、多くの卒業生や後援会および学生の応援を受けて、選手諸君は文武両道のもと最大限の力を出し切って、全ての予選会で12名全員が完走しました。

その結果は、テレビでも放映されましたように40位、31位、33位、33位とそれなりの成績を残し、本学の存在感と一般学生への高揚感を与えることができたように思います。また、本年2月の埼玉駅伝でも4回目の出場を果たし、本学最高タイムで一般・大学の部で8位という成績を修めました。本年度は一つの区切りを迎える5年目になりますが、何とか現状での目標である箱根駅伝予選会30位以内に向けて、味澤監督と選手が一丸となって頑張っ貰いたいというのが、特別委員会の切なる願いです。

一方で、多くの課題も山積しています。例えば、選手層の厚さ（質と人数など）の問題、練習場所・時間の問題、健康管理のあり方、部費・合宿費の不足、勉強との両立などです。

今後は、その他の正課外活動に対する支援・助言を継続・拡大すること、女性会員の校友会参加も促していきたいと考えております。

特別委員会 活動内容

- ・箱根駅伝出場のための陸上部駅伝ブロック所属の学生支援（奨学金の給付等）
- ・昭和記念公園で11月に行われる箱根駅伝予選会と埼玉駅伝の応援
- ・本学学生の正課外活動の支援 など

役員紹介



芝浦工業大学 校友会
監査役

泉澤 定雄

建築学科
昭和46年卒業

校友会歴

平成15年6月 埼玉支部長に就任
平成17年7月 常任幹事に選出
平成20年9月 芝浦工業大学評議員に選出
平成23年6月 副会長に選出
平成26年6月 監査役に選出

経歴

昭和46年4月 (株)相和技術研究所に入社
平成13年5月 (株)相和技術研究所を退社
平成13年9月 (有)藍建築工房設立

「建学90年に向けて」

来年で大学ができて90年になります。多くの先人の方々が、多大な努力を積み重ね、出来上がったのが現在の芝浦工業大学です。私たちはそのことに思いを馳せ、更なる発展を期したいと思います。

校友会の輪は全国はもとより、世界に広がっております。そんな折にスーパー・グローバル大学の指定を受け、母校は新たな時代を迎えています。社内公用語が英語となった日本企業があり、コミュニケーションツールとしての英語が、社会人の必須アイテムとなってきました。

校友会も社会の変化や、時代の要請に対応した組織に脱皮していくことが望まれます。ベテランの方々の力を借り、若い方々の力を糾合し、自由に活躍できる環境を整えていくべきであります。誰でもが活動に参加できる、充実した組織にしたいと考えます。その実現のために、監査役として尽力したいと思います。



芝浦工業大学 校友会
監査役

渡辺 碩

建築学科
昭和45年卒業

校友会歴

前 常任幹事会議長
現 監査役

経歴

(株)TAW 建築設計事務所 (昭和46年設立)
(株)ティ・オー・ピィ (昭和60年設立)

数え年で70歳、古希を迎えました。

昔でいえば「じじい」です。だが、小生いまだ現役です。

一度の人生、時を戻す事はできません。前進あるのみです。最近、特に若い人たちと話をし、酒を飲む機会を増やしております。じじいとばかり集まってはいけません。校友会も若返りをもっと推進し、若い人との会話を通じて、皆で若返りをしなければならぬと思います。

*仕事の話

現在進行中の案件のうち、2点ほど紹介致します。

- ・麻布の10階建ての賃貸マンション。
これは、33坪程度の敷地に、10階建てを建てています。構造に苦勞致しました。麻布は岩盤が浅く、建物の引抜がおこり、その為地下一層分のコンクリートの塊りでおさえる事としました。4月完成です。
- ・浜町のオフィスビル
これも、新大橋通りに面した30坪程の敷地に11階建てを建てています。
明治維新の久松邸の屋敷跡で、松杭が二層にわたり出てきて、たいへんな工事となりました。たまたま五十嵐理事長が現場を通りかかれ、「狭小地でよく工事をやっとな、芝浦の卒業生が、この様な大通りで設計をしておる事は非常によろこばしい」との、お褒めの言葉をいただきました。

校友会の活動も、前進あるのみの勢いでやらせていただきますので、よろしくお願い致します。

役員紹介



芝浦工業大学 校友会

監査役

飯島 敏春

機械工学科

昭和54年卒業

校友会歴

平成23年 剣道部錬心会支部助監督
 平成23年 本部選出幹事
 平成26年 常任幹事
 平成26年 監査役

経歴

昭和54年 日本通運(株)入社
 平成19年 横浜警送支店長
 平成21年 関東警送支店 部長
 平成23年 本社警備輸送事業部
 (株)REAL ONE TECHNOLOGY 出向
 平成26年 執行役員 コールセンター長
 平成27年 執行役員 総合事務センター長

監査役の大役を仰せつかり2年目を迎えました飯島でございます。

私は一昨年より、鈴見会長の代行として、各地域の支部総会や父母懇談会に出席する機会を頂いておりますが、校友会諸先輩方の母校愛や後輩を思う暖かい気持ち、また、父兄の皆様が子供の将来を考え、OB先輩のアドバイスを真剣に受け止める熱い気持ちがとても印象に残っております。すでに、各先輩方のご努力で「就職に強い大学」として母校は評価されておりますが、就職率100%を目指して「在校生就職支援活動」も活発化しております。また、文科省より「スーパーグローバル大学創成支援事業」を採択され、母校は、アジア工科系大学のトップテンを10年後の目標としております。そんな中、校友会もシンガポール支部・台湾支部・タイ王国支部・上海支部等、多数の先輩方が海外でご活躍されております。国内は基より、海外でも校友会支部活動が盛んになるための支援が出来たらと、考えております。まだまだ校友会活動では未熟な私ではありますが、創立100周年に向けて、鈴見会長の下で、残り任期を各支部の先輩方、在学生、後援会の皆様のご意見や情報を賜りながら適正な監査業務を遂行してゆく所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく御願い申し上げます。



芝浦工業大学 校友会

常任幹事会議長

辻村 建

建築学科

昭和46年卒業

校友会歴

平成23年 常任幹事再任 選挙管理委員長
 平成26年 常任幹事再任 常任幹事会議長

経歴

平成12年 大木建設(株)取締役 東京本店副本店長
 平成24年 芝浦工業大学 施設管財部 担当部長

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年の全国総会でいただきました貴重なご意見につきましては、各々の担当委員会で協議されました後、常任幹事会で検討確認をさせていただき、ご質問の方に回答を申し上げますこと、ご報告させていただきます。

「全国総会」は、北海道から南は沖縄までの地域支部、各職域、同好支部の方々に参加いただきますとともに、海外支部からも貴重な時間を割いてご参加いただき、大変重要な会合であります。皆様からの貴重なご意見が校友会活性化の源であり、常日頃からの忌憚のないご意見をいただく事が大切であると考えます。

総会開催前の早い時期に校友会事務局の方へ、ご意見をいただき、事前に本部執行役員、並びに常任幹事会で意見確認を図った上、速やかにお答えできれば、ご参加の皆様との意思疎通も図られ、より一層の校友会活性となるのではと祈念致します。

また各支部総会等で支部の皆様から貴重なご意見をいただく事も、校友会活動にとりまして重要であります。

今後とも校友会活動を基盤として、皆様とのより一層の交流と親睦が深められますとともに、「校友の輪と絆を更に大きく、強く」し、母校芝浦工業大学の発展に微力ながら寄与できますよう尽力する所存でございます。

皆様方のご支援ご協力を宜しく御願い申し上げます。

理事長挨拶



学校法人芝浦工業大学

理事長

五十嵐 久也

私が校友会会長の時、地方の校友会支部の懇親会で年配の卒業生から「お〜い、駅伝何時までモタモタやってるんだ。何時出られるんだ。早くやってくれよ!」と声を掛けられた。

それを聞いて、私は啞然としたと同時に情けない気持ちになった。この人は、卒業生として箱根駅伝出場のために、どんなことをやったのか、どんな支援をしたのか聞いてみたいと思ったけれど、この様なことを言う人は恐らく自分では何にもしてないだろうと飲み込んだ。応援に行き、寄付もし、熱い思いで学生と共に本選出場を模索している時に、「、、、はやくやってくれ」は無いだらうと正直腹が立った。このような人がいる間は、本選なんて夢のまた夢だろう。卒業生、学生が、100円の寄付でもいい、何か駅伝に拘わる事が、本選出場への道につながると思う。

どんなスポーツでも、会社のプロジェクトでも、組織を作り資金を用意し、監督コーチをつけても、それだけで上位にいけるあまいものではない。小学生が親から「勉強しなさい」と言われても、また塾に行っても、それだけで学力が向上することなどないだろう。金を補助されたり、コーチをつけられたり、人から言われてやっている間はトップ集団には入れない。自分で目標を定め、それに向けて努力する。結果が出たら、それを励みに更に頑張る。何のために今苦しい中を我慢しているのかという強烈な思いが、自分を進化させるのだろう。卒業生のほとんどの人が、このような思いで今日までやってきたことだろう。

来年はいよいよ、附属中高が新豊洲にやってくる。ただ単に附属中高を板橋から新豊洲に移転させるということなら、恐らく移転は実現しないのではないかと。大学のそばに移転して中、高、大の教育を視野に入れて関係者が必死に取り組んだ結果が、来年の開校に結びつくのだ。

一方において、来年4月には、建築学部建築学科がスタートする。歴史と伝統ある本学の建築が社会に向けて日本の、世界の建築教育への出発点になろうとしているのだ。これには、関係する教員、職員の強烈な思いが込められている。何かを変えよう、新しいことを始めようという時には、強い意志と強靱な決意が必要となる。

駅伝が予選会で勝つための必死な思いがはたしてあるのか。「駅伝早くやってくれ」というような、ただそれだけの人は邪魔になるだけで、何の役にも立たない。努力するものは報われると信じて行こうではないか。

学 長 挨 拶



芝浦工業大学
学 長
村 上 雅 人

世界大学ランキング

大学ランキングの話題を耳にしたことがあるでしょうか。THE (Times higher education) や QS (Quacquarelli Symonds) などの私的な機関が、それぞれ独自の指標に基づいて世界の大学のランク付けを行うというものです。毎年、順位が世界的に発表され、日本でも注目を集めています。文科省が主導しているスーパーグローバル大学創成支援事業においても、世界大学ランキングを視野に入れた改革が推奨されています。

芝浦工業大学は、私立理工系で唯一スーパーグローバル大学に選ばれました。本学の多くの海外提携校も大学ランキングをもとに、パートナーを選定するようになっています。例えば、マレーシアやインドネシアでは、国費留学支援は基本的に、世界トップ200大学へ留学する学生にしか認めないという方針を示しています。日本の大学で、トップ200に入っているのは、東京大学と京都大学だけです。

日本の大学の教育研究レベルは、世界的に高い水準にあると思われるのですが、教員や学生がほとんど日本人であるため、国際性評価 (International Outlook) という項目において低評価に甘んじています。しかも、年々順位を下げているのです。

海外の学生が留学先を決めるときに、大学ランキングを参考としている現状も踏まえ、芝浦工業大学は、QS と THE の世界大学ランキングにエントリーすることを決めました。そして、2027年の100周年には、アジア工科大学のトップ10入りを目指しています。

大学評価には、大学の歴史と伝統も重要となります。幸い、芝浦工業大学は、89年の歴史のなかで、多くの有為な卒業生を世に送り出してきました。世界の舞台で活躍している校友もたくさんおられます。ランキングには、雇用者評価の項目があり、卒業生が就職した企業にも任意のアンケート調査が入ります。校友の皆様には、海外から調査依頼が届いた場合には、対応をお願いしたいと思います。

本学は、ランキング入りを視野に、海外の学生が、ぜひ留学したいと思う世界の工業大学を目指して前に進んでいきます。

[概要]

※学部学科の概要は予定であり、変更となる場合があります

1 学科 3 コース制

①空間・建築デザインコース

略称 [SA] = Space and Architectural Design Course

②都市・建築デザインコース

略称 [UA] = Urban and Architectural Design Course

③先進的プロジェクトデザインコース

略称 [AP] = Advanced Project Design Course

修業年限：4年

取得学位：学士（建築学）Bachelor of Architecture

募集定員：240名（予定）

開設場所：豊洲キャンパス（1～4年次/大学院）



芝浦工業大学

建築学部

建築学科

2017年4月

開設予定

[建築学部の特徴]

3 コース制の特色ある教育

建築を中心にインテリアからまちづくりまで、総合的な視点から豊かな生活環境をデザインする「空間・建築デザインコース」、単体の建築から都市空間まで、21世紀の建築と都市をデザインする「都市・建築デザインコース」、多様な価値観と国際的な知見で柔軟な社会を創造する「先進的プロジェクトデザインコース」の3コースを設け、コースごとの特色を明確にします。また、特に「先進的プロジェクトデザインコース」では大学院までの一貫教育を見据えた教育を行います。

芝浦工業大学は、2017年4月に「工学部 建築学科」「工学部 建築工学科」「デザイン工学部 デザイン工学科(建築・空間デザイン領域)」の2学科1領域を統合・再編し「建築学部 建築学科」の開設を予定しています。

創立100周年を迎える2027年に名実ともに“理工系私学のトップ”になる目標を掲げており、その実現のための大学戦略の一環として、「芝浦建築の歴史と伝統」を継承し、未来につながる新しい建築教育を展開していきます。



きめ細やかな教育

学生の向学心に応じたきめ細やかな教育を行います。コース制を取りながらも、4年次にはコースを越えた約30の研究室より選択が可能となります。また、特色ある建築分野を専門とする約30人の専門教員の授業を自由に選択することで、自身の専門分野に加えて他分野の幅広い知識の習得が可能となります。

芝浦工大初「豊洲」キャンパスでの4年間一貫教育

建築学部は本学初の豊洲キャンパスでの都心一貫教育となります。開発が急速に進むベイエリア地区「豊洲」から、運河を越えればそこには門前仲町や月島など伝統的な懐かしい面影を残す街並みが広がります。歴史と先進性が共存し、多くの建築的研究テーマを発見できる豊洲というフィールドで幅広い知識と感性を養います。



実学サロン

～ 変革の時代の経営を考える～

「いつでも良い企画で楽しい」とのご意見

実学サロンの講師は、毎回芝浦工業大学の校友です。社会で活躍する校友や在校生にとって、ビジネス経験や研究活動の経験を聞くことは、楽しく有意義なことです。魅力的な研究開発活動、エンジニアリングやマネジメントを学ぶには、その道で体得された方に聞くのが一番です。

実学サロンの目的の一つにネットワーキング（人脈づくり）があります。卒業後、多くの校友がエンジニアとして活躍されやがてマネージャとなります。

変革の時代のマネージャに求められているのは、異業種交流を通して多様な発想をもつ必要があります。日本の場合、多くの技術者が企業内の交流に終始し、異業種との交流がおろそかにしてしまう傾向にあります。校友会では、校友の先輩、後輩が業種を越えて情報交換する場として、実学サロンが皆様のビジネスのお役に立つと考え、企画し、運営しています。

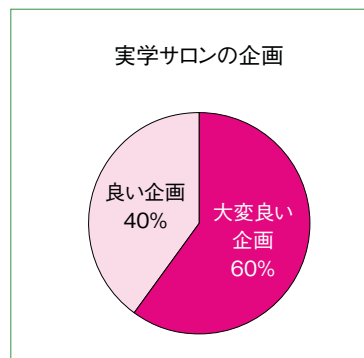


図1 アンケート集計結果(14回～17回)



NHKの番組『凄ワザ』の企画を担当した柴田順二氏は「持続的イノベーションも一考すべき」と講演（17回）で語る。

社会に出て活躍している多種多様な校友の交流の場



林田和雄副会長

4年目となった『実学サロン』です。講師は毎回校友から選んでいます。既に17回の講師を改めて見てみると校友の諸先輩は実に多才です。社会に出て活躍している校友をご紹介したいとの趣旨が成功しています。参加者から「実務経験に基づく話をしてもらえる」「それぞれ非常に参考になる講演ですばらしい」「多くの大学が公開講座をやっているが文化系が多く工科系のセミナーは少ないので有意義」「普段接触出来ない畑違いの知識を聞いた」などを聞くとビジネス経験や研究活動の経験を聞くことは有意義なことだと実感できました。実学は、その道で体得された方からの情報をヒントにするのが一番です。「今後も本企画を継続して欲しい」との参加者の要望が多数寄せられています。校友の皆様のご支援、よろしくお願いいたします。

副会長・総務広報委員長 林田 和雄

若いメンバーを巻き込み、活気ある実学サロン

2012年7月に第1回を開催し、2016年1月末の時点で17回の実学サロンを既に開催しました。毎回30名以上の参加者があります。

「実学サロンの企画」に対する5段階評価のアンケート結果からは、上位の「大変良い企画(60%)」と「良い企画(40%)」の2段階に回答が集中(図1参照)しています。この結果から、企画に対する参加者の満足度が非常に高いことが分かりました。実学サロンを通じて、校友が定期的に母校に集まりことができることや、校友の活躍の実例にふれることなどの開催の意義が校友の皆様に理解されていることが分かりました。

14回～17回の「講演について」の各講演の評価に対するアンケート結果を集計すると「大変良かった」が61%、「良かった」が31%、「まあまあ」が4%、「やや不満」が4%、「改善点が多い」が0%でした。「良かった」の合計が92%で、参加者から高い評価を得ていることが分かり、安心を致しました。アンケートのコメントには「若いメンバーや女性のメンバーを巻き込める活気が広がると良い」などの意見がでています。

講演終了後は、7階の校友サロンで懇親会を開催します。講師との懇談や、校友同志での名刺交換など、先輩と後輩間での異業種交流が盛んに行われます。是非ご参加ください。

レピーターを増やす対策で昨年度から下記に示す「実学サロン案内サービス」を始めました。希望される校友は、事務局までメールにて、ご連絡ください。登録して頂きますと、開催案内をメールにてお送り致します。

毎回100名程度の参加者を目指して、案内に工夫を凝らして取り組んでまいります。ご支援ください。



峯村高志氏(左)を推薦した滝下勇氏(右)が司会を担当した。(16回)



講演後、7階の校友サロンで行われたテイスティングのワインを注ぐ林田和雄副会長(右から2番目)と講師の伊藤博之氏(右)。(14回)



柴田順二氏を推薦した小川誠氏(右)が司会を担当した。(17回)

実学サロン開催案内メールサービス

実学サロンの案内をメールにて希望の方は、メールアドレスと氏名と学科・卒業年次を校友会事務局まで、下記メールアドレスに、ご連絡ください。
E-mail:sitfriends@shibaura-koyu.jp

実学サロンのホームページでの案内

案内は、校友会のホームページをご覧ください。
<http://www.shibaura-koyu.jp/salon/index.html>

表1 実学サロンの開催一覧(第14回～17回)

回数	テーマ	講師	所属	卒業
第14回 2015.7.24	男と女のワイン術 ＜あなたのワインの基準・基点を探す方法＞	伊藤 博之	わいん厨房たるたる オーナーソムリエ兼シェフ	1990年 工業化学科
第15回 2015.9.18	福島第一原子力発電所の事故から学ぶリスク管理	大原 武光	元 東京電力株式会社 各種原子力業務に従事	1962年 電気工学科
第16回 2015.11.24	国土交通省における公共建築工事に関する最近の施策など	峯村 高志	国土交通省大臣官房官庁営繕部 営繕環境調整官	1991年 工学部二部 電気工学科
第17回 2016.1.28	凄ワザ、究極の真珠の加工の研究	柴田 順二 工学博士	芝浦工業大学 名誉教授	1965年 工学部機械工学 第二学科

実学サロン：第14回

2015年7月24日 芝浦キャンパス内

男と女のワイン術

— あなたのワインの基準・基点を探す方法 —

講師 ^{いとう ひろゆき} 伊藤 博之〔「わいん厨房たるたる」オーナーソムリエ兼シェフ〕
(平成2年工業化学科卒業)

今回の講師の伊藤博之氏は、工業化学科を卒業後、素材メーカーに研究者として勤務、フランス出張でワインに目覚め、2000年に「わいん厨房たるたる」をオープンしました。14年経った本年の1月に『男と女のワイン術』と題する本を共著で日本経済新聞出版社から出版したところ大人気で、2016年3月の時点で7万部に迫る売上で、第2段の『男と女のワイン術2杯め』も3万部に迫る売上で聞きました。

伊藤氏は「自分が好きだという『基点』を見つけて慣れ親しみ、たまには周囲にちょっとだけ旅に出掛けて別なものに触れ、進むべき『基準』をつくっていくことで、それがやがて線となり、あなたにとってのワインの世界が広がり始める」と著書の終わりの中で書いています。コミュニケーションツールと言われるワインの話をお聞きすることで、彼と彼女の会話がはずむこと間違いありません。

ワインを選ぶには？

沢山の銘柄の中から、料理と一緒に飲むメンバーや、場の目的など状況に応じて、選び飲み分ける事が出来たらこんなに楽しいことはありません。しかし自身で独力で選ぶには、やはり知識や経験が必要です。

レストランやワインショップなどの専門店には、ワインを見立ててくれる人間が居ますが、そういう場所であれば好みを伝えれば選んでもらえますね。飲んだワインが「美味しい・不味い」「好き・嫌い」「自分に合う・合わない」ということは解りますが、店員にどう話してよいかもわからない方が多いのではないのでしょうか？

専門知識を全く知らなくても「味わい」を伝えることができればお好みのワインにたどり着く、店員に選んでもらうことが出来ます。お好みのワイン名（コレだけは覚えて下さい！）を挙げ、そこから味わいをどう変えたいかを伝えると良いでしょう。

ワインの味わい三つのモノサシ

ワインを選べるようになるとは、端的には二本並んだボトルの双方の何が違うのかが、分かるということでしょうか。それにはまず味わいを分けるモノサシが必要です。味わいの構成成分は多岐にわたりますが、基本の三つを用意しました。果実味・酸味・渋味です。果実味：果物や花のニュアンス、甘い感じ、フルーティーかどうか。果実味の反対には辛口という表現もあります。冷涼な産地のワインはより果実味が少ない辛口タイプに、温暖な産地のワインはフルーティーな果実味タイプとなる傾向があります。

果実味について、横軸を口に含んでからの時間T（概ね秒数）と口中での味の強度Vを表した「グラフ1 味わいの軌跡」を参照して下さい。ニューワールド産の曲線の口に含んだ瞬間にバーンと広がる（甘いような）味わいを「果実味」ととらえると分かりやすい



写真① 「ワインには、果実味、酸味、渋味の3要素がある。それをどう感じ、自分の好みを語るようになるか、そしてソムリエにいかにつまらぬか」について講演してくれた伊藤氏。

だろう。

酸味：ぶどうの種類や育つ気候により、構成する有機酸の比率が変わり、感じ方が変わる。冷涼な産地では鋭い強い酸（レモン汁のような頬にキューンとくる酸）に、温暖な産地では丸みのある穏やかな酸味（舌全体に広がるような酸味）となる傾向がある。

渋味：ぶどうの果皮や種からもたらされる。原料ぶどうの種類によって主に変わる。

果実味をX軸、酸味をY軸、渋味をZ軸とした三次元座標でワインを分類していく。（写真①板書の左側参照）

ワインの選び方（頼み方）

好みがなければ・分からなければ、まずはワインという味わいの原点を知って、それを基準にしては如何でしょうか？。

基準と唱えたワイン名は、

白：マコン、ラベルに“Mâcon”と書かれている仏ブルゴーニュ産、
赤：ボルドー、ラベルにただ“Bordeaux”と書かれている仏ボルドー産

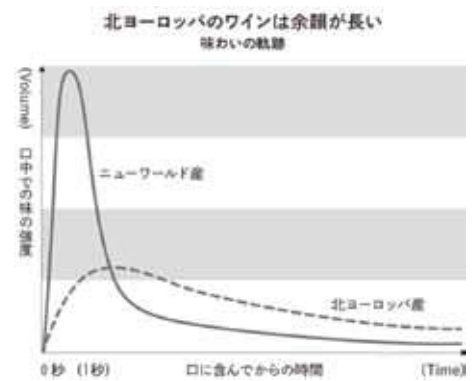
白なら果実味・酸味を、例えば「マコンより酸味があるものを」とか「マコンよりフルーティーなものを」というふうに、赤なら渋味を加えて三つの何かについて、どの方向に進むのかを伝えることで自身の好みの味わいに辿り着く事ができます。

懇親会場にて体感

教室での講義は1時間あまりで切り上げ、7階にある「校友会倶楽部」に移って、基準の白赤含めて4種類を試飲してもらいました。

- ① 白 Mâcon マコン：白の基準、原料ぶどうはシャルドネ種使用
- ② 白 Chardonnay シャルドネ・チリ産：原料ぶどうはシャルドネ種使用
- ③ 赤 Bordeaux ボルドー：赤の基準、原料ぶどうはメルロー種使用
- ④ 赤 Merlot メルロー・米カリフォルニア産：原料ぶどうはメルロー種使用

こちらもより温暖な米国産の方が「果実味」を強く感じるか？を会場の皆様に試して頂きました。その他会場で用意されている白・赤ワイン（よりカジュアルな米国産）も絡めながら価格と味わいの差についても体感して頂きました。



グラフ1 味わいの軌跡（口に含んでからの味の変化）



写真② 工業化学科卒業のソムリエ伊藤氏からワインの基礎知識を工学的な観点から学びました。



写真③ 実学サロンには笑顔が飛び交っています。参加してわかる素敵な出会いがあります。



講師の伊藤博之氏

【講師略歴】

伊藤 博之氏

芝浦工業大学工業化学科卒業後、1990年(株)信光社に入社。

人工サファイヤの製造加工に関連する生産技術、研究開発に従事。フランス出張をきっかけにワインに目覚め、2000年東京銀座に「たるたる」を開店。

ソムリエ協会認定ワインエキスパート取得、ソムリエ協会認定ソムリエ取得。

著書『男と女のワイン術』（日経プレミアシリーズ）、『男と女のワイン術 2杯めーグッとくる家飲み編ー』（日経プレミアシリーズ）

実学サロン：第15回

2015年9月18日 芝浦キャンパス内

福島第一原子力発電所の大事故 から学ぶリスク管理

おおはら たけみつ
講師 大原 武光

(元東京電力で各種原子力業務に従事)
(昭和37年電気工学科卒業)

今回の実学サロンでは、東京電力での原子力開発のパイオニア技術者として活躍された大原武光氏を迎えて、福島第一原子力発電所の津波被害の体験を踏まえたりスク管理とは何かを学びました。万全に備えたはずのシステムが想定外のM9の巨大地震と津波により、非常系を含め全電源システムが動きませんでした。それが大変な大事故へとなってしまいました。今後の安全対策のあり方、迅速な事故への対応ができる設備およびシステムを構築について、なかなか聞けない失敗事例の対応策などのお話を聞きたいと企画致しました。

日本の原子力発電は、1966年7月25日、東海村のガス炉で始まり、2011年2月末迄に57基(炉)が運転してきました。運転年数を合計すると約1,400炉年(各炉の運転年数の和)、定期点検等を除く実運転時間も1,000炉年を超えました。原子力のシステム、津波による事故原因、安全対策について報告します。

基礎知識と共有情報

1. 沸騰水型原子炉(BWR)の特徴

原子力発電は、火力発電のボイラの代わりに原子炉を使い、核反応による熱で蒸気を作り、タービン発電機で発電します。しかし、火力との最大の違いは、原子炉を停止した直後も運転時出力の7%程度の崩壊熱を出しており、この熱は指数関数的に減少していきませんが、長期間出し続けるため、運転停止後も常に燃料を冷却する必要があります。

2. 安全のための主要設備

原子炉停止と炉が判断した場合、原子炉を緊急停止(スクラム)し、核反応を止め、原子炉を冷却します。

①止める(原子炉停止:スクラム(緊急停止))、②冷やす(炉心の健全性維持):隔離時復水器(IC:福一1号機)(福一2~4号機:原子炉隔離時冷却系)、非常用炉心冷却系(ECCS:炉水位)、高圧炉心注水系(HPCI高圧で注水作動)、炉心スプレイ系(炉圧2MPa以下)、自動減圧系(ADS)等、③閉じ込める(格納容器の健全性維持:過圧・過温防止)

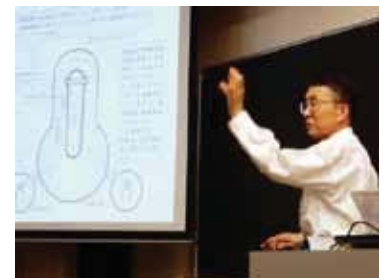
3. 炉のスクラムシーケンス

原子炉保護回路は多重性、独立性、同時性を組み合わせ、2重の1 out of 2方式の論理回路になっています。

原子炉圧力や温度、水位等17程のトリップ(停止)回路からなり、電氣的、機械的、物理的に独立し、電源喪失以外の共通な原因では使用不能になることはありません。

4. 発電システムを支える電力系

図2は、津波被災前の福一1号機の電源系統図です。発電機出力電圧は約2万Vで主変圧器で27万Vか50万Vに昇圧し、送電線で東京方面に送ります。



大原氏は福島第一原発事故の報告

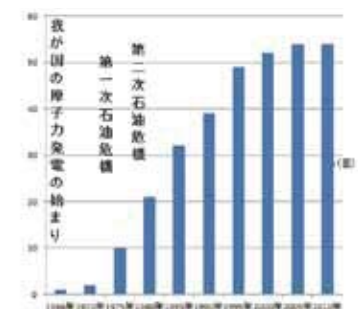


図1 わが国の原子力発電開発の経緯



図2 発電所を支える電源系統図

1号機で使う電力として、所内変圧器で6.9kVに降圧し、1A,1Bを給水ポンプ等の通常運転常用母線に、1C,1Dは緊急時に使用する機器等に供給する非常用母線があります。それぞれが、非常用ディーゼル発電機(D/G)と連結しています。

地震と津波襲来（福一事故、解決に向けた協業）

1. 「地震直後」の状況

地震直後、原子炉は緊急停止し、D/Gが10秒以内に起動し、30秒後に必要な機器に電力を供給しました。地震後、津波襲来までの約55分間は、D/Gによる運転が続けられ、問題なく原子炉の冷却が継続され安全が維持されました。

2. 福一の敷地レベルと津波

図5は福一の津波浸水状況を示す断面図です。歴史調査による福島の最大津波高さは5.7mとされていましたが、約14mの津波が襲来しました。この津波より、タービン建屋内にあるD/Gを含む電気室に海水が浸水しました。

3. 主要建屋への侵入経路（福一）

図5は津波の高さ、浸水経路を示します。

4. 地震津波後の安全設備の機能喪失（状況）

「津波襲来後」導電率の高い海水浸水により、全交流電源喪失、6,900Vを含む重要電源のほとんどが使えず、電気を必要としない冷却設備を除き常用炉心冷却系が使用不能となりました。

5. 津波による浸水、電源喪失と冷却設備の機能喪失

①地震に起因する15m程度の津波によりタービン建屋外部扉からの浸水、建屋の一部水没、②同様に原子炉建屋外部扉から浸水し、常用系をはじめ、多くの非常用設備が稼働できず、原子炉水位の低下を来しました。原子炉水位の低下に伴い、指数関数的に出し続ける崩壊熱（残熱）を奪うことができず、ウラン燃料を支えている燃料被覆管（ジルコニウム合金）が溶け、ジルコニウムと水の反応により大量の水素が発生し、原子炉圧力容器から原子炉格納容器へ、更に原子炉建屋に漏れ出て、建屋の最上階に溜まり、水素と酸素の反応限界に達し、爆発してしまいました。



図3 津波発生2011年3月11日



図4 福島第一原子力発電所1～6号基

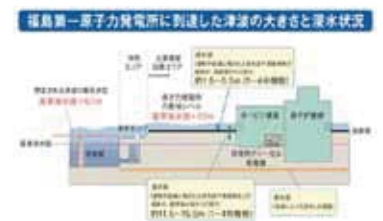


図5 到達した津波の大きさと浸水状況



図6 安全対策の具体例1



図7 安全対策の具体例2

まとめ：電源設備、屋外重要設備への浸水防止策等

津波に対し、以下の①～⑦の対策が有効であると考えています。

①最大想定地震を考慮して防波堤の強化、防潮堤の設置、②タービン及び原子炉建屋外部扉の防水化、浸水防止化水密扉化の実施、③建屋貫通口の防水化、浸水防止化の実施、非常用電源系ケーブルの絶縁強化の実施、④屋外設備の津波対策として純水タンク、D/G燃料タンク、復水貯蔵タンク等の強化、⑤配電盤類の高所配置、海水ポンプ類の水密化、パイプトレンチ、パイプダクトの水密化、⑥基幹変電所の耐震強化等、送受電設備の強化、⑦全交流電源喪失時をカバーする非常用ガスタービン発電機（空冷）の設置。

福一の設置許可申請書では、過去約600年の歴史上、史実に残る地震と津波等を検討し、チリ地震津波（福一の場所で最大5.7m）は無論、建物の強度も関東大震災の3倍の強度に耐えることを考慮し、M7.9、最大津波を5.7mと想定しました。これに基づき設計し、安全審査の結果、設置許可が出されました。その対策は前記①～⑦です。そのほとんどは土木技術、建築技術で、原子力発電所の安全対策は、現在の日本の持つ技術で充分実施できます。

このことは、日本に於ける商業運転の原子炉57基、45年間、1,000炉年強の安全運転の実績が、これを裏づけています。



講師の大原武光氏

【講師略歴】

大原 武光氏

1962(S37)年：芝浦工大電気工学科卒業、東京電力に入社、火力発電所で5年半(内3年運転)経験。1968年より原子力部配属後、福島第一1号機の試運転・営業運転(3年)を皮切りに各種原子力業務(設置許可申請書作成等)を経験。安全、保守を含め原子力関係業務の経験33年。2008年芝浦技術士会会長就任(機械/総合技術監理部門)

実学サロン：第16回

2015年11月24日 芝浦キャンパス内

国土交通省における公共建築工事
に関する最近の施策など講師 みね むら たか し
峯村 高志(国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕環境調整官)
(平成3年工学部二部電気工学科卒業)

今回の実学サロンでは(1)公共建築物における環境施策の動向について、(2)公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正(改正品確法)概要について、国土交通省の峯村高志氏から講演をして頂きました。また、前任の役職で担当した「予定価格の適切な設定」や、芝浦工業大学建築工学科の蟹澤先生にお世話になった社会保険未加入対策や「営繕積算方式」の普及促進についても講演の中でお話し頂きました。

行政機関が行う各種施策は、新聞やニュースによって逐次伝えられているものの、時としてその情報が断片的で自分自身の生活や仕事にどのような影響を及ぼすのかが分かり難いと感じることがあります。

今回、国土交通省の現役職員として把握している情報のうち、公共工事、特に公共建築工事に関する「環境施策」「品質確保」と「担い手の確保」に焦点を当てて解説を行いました。なお、実学サロンと本稿で使用した資料は、国土交通省や環境省などのホームページで公開されているものを中心に選定しました。^(注1)

公共建築工事における環境対策の動向

平成27年11月30日から12月13日まで、フランス・パリにおいて、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)が行われ、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」を含むCOP決定が採択されました。以下の3点は「パリ協定」の項目の一部です。^(注2)

①世界共通の長期目標として2°C目標のみならず1.5°Cへの言及②主要排出国を含むすべての国が削減目標を5年ごとに提出・更新すること、共通かつ柔軟な方法でその実施状況を報告し、レビューを受けること、③適応の長期目標の設定及び各国の適応計画プロセスと行動の実施。

「パリ協定」の採択にあたり日本政府は、2030年における温室効果ガスの削減目標を2030年度に2013年度比▲26.0%(2005年度比▲25.4%)とする約束草案を発表しました。(図1)

日本が排出している温室効果ガスのうちCO₂は、東日本大震災後に電力のCO₂排出係数が悪化したことを主要因として、近年増加傾向にあります。CO₂の部門別排出量を見ると、一次エネルギーの8割前後を電力に依存する「業務その他部門」と「家庭部門」の増加が著しく増えています。(図2)この対策の一つとして、商業施設やオフィスビル等が対象となっている「業務その他部門」の排出量削減を行うため、平成27年7月、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(以下「建築物省エネ法」)が成立し、住宅以外の一定規模以上の建築物のエネルギー消費性能基準への適合義務の創設等の措置が図られることとなりました。

(注1) 実学サロンで使用した資料は、https://www.sugarsync.com/pf/D6034927_85607018_8766117に掲載。

(注2) 環境省ホームページ COP/MOP11 結果：<http://www.env.go.jp/earth/cop/cop21/index.html>



峯村氏は国土交通省に施策について分かり易く解説してくれました



図1 日本政府の約束草案

表1 被害を最小化にする施策の基本理念

1. 国民の生命・財産を守る
2. 社会・経済活動を支えるインフラシステムの機能を継続的に確保する
3. 国民の生活の質の維持を図る
4. 生じうる状況の変化を適切に活用する

温室効果ガス排出削減による地球温暖化対策は、1997年にCOP3で採択された「京都議定書」に基づき、先進国を中心にその取組みを進めてきました。また、「最大限の地球温暖化対策を講じたとしても、地球温暖化による影響を完全に避けることは難しい状況となっており、影響への適応を検討・推進していくことが必要」とされ、温室効果ガスの排出削減だけでなく、悪影響への備えを合わせて車の両輪として、地球温暖化対策に取り組むために平成27年11月「気候変動の影響への適応計画」を閣議決定しています。

国土交通省では閣議決定に伴い、現在生じている、あるいは将来生じうる気候変動の影響による被害を最小化する施策を表1の項目を基本的な理念として、様々な主体による適切な役割分担と科学的な知見に基づいて適切な時期に計画的に講じることにより、適応策を効果的・効率的に推進することとしています。



図2 CO₂の部門別排出量 (電気・熱配分後) の推移 (カッコ内の数字は各部門の2013年度排出量の2005年度排出量からの増減率)

公共工事の品質確保の促進に関する法律

平成26年6月、インフラ等の品質確保とその担い手確保を実現するため、公共工事の基本となる「品確法」を中心に、密接に関連する「入契法」、「建設業法」も改正しました。(表2) さらに、公共工事の工事費の積算に用いるための公共工事設計労務単価を以下の項目をポイントとして決定しており、単価は近年上昇傾向にあります。(図3)

- (1) 最近の労働市場の実勢価格を適切・迅速に反映
- (2) 社会保険加入徹底の観点から必要な法定福利費相当額を反映

平成25年頃、地方公共団体発注の大型公共建築工事を中心に、いわゆる「入札の不調不落」が多数発生しました。この対策として、公共建築工事における『営繕積算方式』の普及・促進を図るとともに、公共建築工事相談窓口の運用強化を行っています。

公共工事の中長期的な担い手の確保対策

技能労働者数は、平成9年の455万人をピークとして平成22年には331万人まで減少しましたが、その後は増加に転じ、平成26年には10万人増加しました。また、建設就業者の高齢化も進行していましたが、平成26年は若年労働者の割合が増加するなど近年改善傾向にあります。

この背景には、行政、発注者、元請企業、下請企業、建設労働者等の関係者が一体となって社会保険未加入問題への対策を進めたことが挙げられます。

なお、対策の検討を行った社会保険未加入対策推進協議会には学識経験者として、本学工学部建築工学科の蟹澤宏剛教授に参画頂きました。

さらに建設業界にあって、もっと女性が活躍できる取組みは、喫緊かつ重要な課題であり、官民挙げた『もっと女性が活躍できる建設業行動計画』(平成27年8月策定)を受け、『5年以内に女性倍増』を目指して、地域ぐるみの活動の更なる深化・定着の推進とともに、建設業の女性進出で大きな課題と指摘される分野への重点対応と、他産業の創意・活力の活用・取込みを通じた女性活躍の基盤固めが不可欠であり、その対策に取り組んでいます。



講師の峯村高志氏

【講師略歴】

峯村 高志氏

1991年3月芝浦工業大学工学部二部電気工学科(野末研究室)卒業、1986年4月農林水産省入省、1990年4月建設省(現:国土交通省)入省、2004年4月内閣官房出向、2011年4月環境省出向、2013年4月国土交通省出向、2015年4月より現職、東京都出身。

表2 品確法の狙い

基本理念の追加: 将来にわたる公共工事の品質確保との中長期的な担い手の確保、ダンピング防止等
発注者の責務 (基本理念に配慮して発注関係事務を実施)を明確化
事業の特性等に応じて選択できる多様な入札契約方式の導入・活用を位置づけ、それにより行き過ぎた価格競争を是正
公共工事設計労務単価の見直し



図3 公共工事設計労務単価の推移

実学サロン：第17回

2016年1月28日 芝浦キャンパス内

凄ワザ、究極の真球の加工の研究

講師 ^{しば た じゅん じ} 柴田 順二(芝浦工業大学名誉教授 工学博士)
(昭和40年工学部機械工学第二学科卒業)

今回の実学サロンの講師柴田順二氏は研削・研磨加工技術の第一人者で、この分野の研究リーダーの一人で著書に『球体のおはなし』があります。柴田氏は、球体の加工技術と理論を追及し、新たな研磨手段、装置を開発し、自動加工で真円度0.04ミクロンを達成しています。過日には、NHKの『凄ワザ』に招かれ、解説を担当しました。日本のものづくりの技術力をどこまで高めることができるのか「究極の“真球”を目指せ」とのテーマで不可能を可能にする「凄ワザ」をお聞きしました。

【講演概要】 球体は身近すぎる存在であり、たかが球体と見過ごされがちです。この単純無比な形体の科学的意義や工学価値を正実に認識している技術者が、果たしてどれほどいるのでしょうか。筆者はたまたま、過日放映されたNHK TV番組「凄ワザ」シリーズで“真球対決”の企画に協力したことが縁となり、第17回実学サロンにおいて講演の機会を得ました。そこでは真球づくりのhow toについて話すことを本意にしたつもりではなく、真球づくりを介して、21世紀の科学・技術にとって必要な「ものづくり」の理念を述べたかったのです。「ものづくり」の凄ワザ（本物）と並ワザ（似非物）の技術差が紙一重にすぎないこと、すなわち成熟化時代の製品では一流品と標準品の機能差が0.1%にも満たない僅差ながら、越え難い壁があることを強調したかったのです。以下、話題の要点を報告します。

真球技術に見るニッポンのものづくり“凄ワザ”

NHK 凄ワザシリーズ「激突神ワザ! 神の形態“真球”に挑め(2013.10.14)」、「究極の“真球”を目指せ(2014.5.29)」、「真球世界一決定戦(2015.3.1)」をご覧の方もいらっしゃるでしょう。幅7cm×長さ30mの完全平面(アルティメット・パラレル・バー)から側方に落下せずに全長を転がり切る真球づくりの技術バトルです(図1)。

この企画には、職人の技能(凄ワザ)が先端科学技術(凄テク)を打破ることへのディレクターの思いが込められていることを否定できません。この技術バトル自体は「真球は平面上を転動直進する」という仮説の下で成立するのですが、現実には果たしてそうでしょうか? 放映後に、多くの疑問が寄せられました。曰く、転動面30mは本当に平坦なのか? コリオリ力の影響は? 幾何中心と重心の偏心は? などなどです。

しかし、これらの疑問についてここでは言及しません。早速、本題である真球づくりの“凄ワザ”について話題を進めることにいたします。

“凄ワザ”の Terminology

「ものづくり」技術の世界で“凄ワザ”とはどのように定義されるのでしょうか。恐らく“凄ワザ”とは職人の手業による卓越した技能であり、名人ワザや神ワザに通じるものです。この対照語は“凄テク”であり、最新科学技術の粋を結集したハイテクです。何れにせよ、このような定義は感覚的で、論理性に欠ける嫌があります。

“凄ワザ”を定量的に論じるために、「追隨者に勝る先行者(チャンピオン)機能」と定義する方が妥当と思われます。ここで、優位性を定量判定する指標が精度(分解能=偏差/機能値)です。精度は技術の高度化(成熟度)と共に極小値へ収束し、



柴田氏は真球の加工について「凄ワザ」を解説



図1 球体の直進転動距離を競う(NHK)

“凄ワザ”と“並ワザ”の較差が伯仲して両者の有意差が見え難くなるのが常です。例えるならば、陸上100m競走においてチャンピオンウサイン・ボルト（記録9.72sec）と2位タイソン・ゲイのゴール差“数十cm（ $10^{-3}\sim 10^{-4}$ ）”を素人は逆転可能な僅差と感じ、プロ走者は越え難い壁（大差）と見ることに通じています。

一般論として、技能世界の“凄ワザ”： 10^{-3} （0.1%）に対して21世紀の“凄テク”は 10^{-4} （0.01%）オーダにまで達し、ナノテクと呼ばれています。“凄テク”が“凄ワザ”を凌駕したのです。しかし、唯一の例外があります。それが真球づくりです。古来より伝承された玉磨り（タマスリ）技能は現代でも生きていて、 10^{-5} （0.001%）のオーダなのです（図2）。



図2 研磨皿による玉磨りの“凄ワザ”

グローバル時代と国際単位

この世に理想の真球は存在し得ないことを公理とすれば、真球磨きに「完成」という観念はありません。ただし、自然摂理を利用すると玉磨り（タマスリ）の“凄ワザ”によって、限りなく真球へ近づけることは可能なのです。今日、真球度のギネスチャンピオンは、NASAによるGravity Probe用のジャイロロータとされています。本日は、国際単位SIのための「アボガドロ数」決定用シリコン基準球（質量原器）を例に取上げ、真球づくりの科学・工学的意義を垣間見ることにします。**国際単位SIの基本単位** SIには、7つの基本単位（長さ、質量、時間、電流、ケルビン、モル、カンデラ）があります。その中で、未だに実体物（国際キログラム原器）による定義として残るものは、質量だけです。



図3 アボガドロ数の測定を想定した単結晶シリコン球
（素材：新日本製鐵、研磨：芝浦工業大学、1995）

2011年、国際度量衡総会CGPMでキログラムの再定義が合意され、2018年を目標に新たな定義に切り替えられることが決定し、アボガドロ国際プロジェクトが計画されたのです。余談ですが、その話題を作品に取り入れたのが2015年の暮れに封切られたノルウエー映画「1001グラムハカリしれない愛のこと」です。幸せの基準、愛や魂の重さをハカルことに絡めたユーモアに満ちたラブロマンス映画ですが、真球に関わる技術の視点からも興味津々です。

アボガドロ数に基づく質量原器の製作 アボガドロ数とは物質1モルに含まれる原子数（モル分子数）で、アボガドロ数 N_A を知れば、物質の密度 P を知ることができるはずですが、現在、アボガドロ数 N_A は結晶の格子定数から求められ、最も信頼できる値として、 $N_A = 6.0238 \times 10^{23}/\text{mole}$ （有効数字5桁）が知られています。シリコン単結晶素材から理想的な真球を作り出すことができれば、その密度と格子定数を絶対測定し、これに同位体組成比に関する評価を加え、アボガドロ定数の測定精度を有効数字8桁まで高められるはずと目論んだのです。シリコン単結晶の真球を研磨する挑戦は、オーストラリア連邦科学産業研究機構CSIROとイタリアIMGCの連携の下で1987年にスタートしました。その後、CSIROはシリコン単結晶球（94mmφ）の真球度：約50nmを達成することが出来ました。その結果、その質量を有効数字7桁（ $2329.0832 \pm 0.0008 \text{ kg/m}^3$ ）で特定することができました。

おわりに 持続的イノベーションも一考すべき

わが国でもほぼ時期を同じくして、産業技術総合研究所計量標準総合センターNMIJが中心となり、アボガドロプロジェクトに取組みました。シリコン単結晶球（94mmφ）の製作では、T社生産技術研究所を始め国内のしかるべき企業の協力を得たものの到達できた真球度は100～300nmが限界で目標とする数値を保証できなかったと伝え聞きます。

筆者の研究室でも及ばずながらこの基準球づくりに協力しましたが、この目標値には及びませんでした（図3）。

結局、我国のみならず欧州ではシリコン基準球の製作を、お世辞にもハイテク技術国とは言い難いオーストラリア連邦科学産業研究機構CSIROに依頼せざるを得なかったのです。シリコン単結晶には結晶方位に応じた硬さの異方性があり、従来の研磨技術では目標とする真球度の実現が困難と思われていましたが、CSIROでは恐らく技能の限りを尽くした“凄ワザ”によってこの壁をブレイクスルーしたのでしょうか。このように究極機能へ向けて $10^{-4}\sim 10^{-5}$ のステップアップさせる源が、持続的イノベーションなのです。従来、先進国が追い求めたクリステンセンの破壊的イノベーションの意義は勿論認めるとして、持続的イノベーションも一考すべきではないでしょうか。



講師の柴田順二氏

【講師略歴】

柴田 順二氏

1965年芝浦工業大学工学部機械工学第二学科、1969年慶應義塾大学工学研究科機械工学専攻、1974年慶應義塾大学工学研究科博士課程修了（工学博士）、1988年芝浦工業大学教授。

2003年同大学専門職大学院教授。2008年芝浦工業大学名誉教授。

その間、慶應義塾大学および東京都立大学非常勤講師、東京大学生産技術研究所顧問研究員。

支部活動報告

北海道支部

新支部長 高野 義昭 土木工学科 昭和48年卒業

昨年(平成27年)には、校友会北海道支部の創立50周年にあたり、山口支部長を実行委員長として5月23日京王プラザホテルにて北海道支部創立50周年記念式典・総会を始め、創立50周年記念誌の作成等、無事に各事業を執り行ってきました。

その総会において次期支部長他役員が決定し、記念式典においては、来賓の校友会会長 鈴木健夫氏始め、青森支部下山支部長他役員の方、そして富山支部より川崎支部長の御出席の他、本校より五十嵐久也理事長、村上雅人学長始め大学関係者の方々、後援会の皆様方が御参加していただき、村上学長の講演を始め、各地方分会による御当地グルメ品の出店による販売等により、当支部の方々との交流を図ってまいりました。

尚、北海道支部では、各地方ごとに6分会(札幌、函館、旭川、帯広、北見、根釧)を設けております。一番大きな地区の札幌分会では、5部会(機械、電通、建築、土木、理経)に分けており、それぞれの分会・部会ごとに新年会、忘年会、ゴルフ大会等の活動しております。しかし、最近の卒業生の動向により、部会や住所等の見直しを含めて検討していく予定であります。

青森支部

支部長 木村 喜有 土木工学科 昭和44年卒業

青森支部は、昭和53年に設立され、翌年に第1回の同窓会を開きました。函館市と青森市がツインシティを締結したことを契機に、平成3年から、北海道支部函館分会との交流が始まりました。

平成9年には、大学創立70周年記念事業として、小中学生対象に東北で唯一「全国縦断口ホットセミナー」を青森市で開催しました。

平成13年頃から支部総会の参加者を増やす目的で、開催地を青森、弘前、八戸の各市を持ち回りにしております。また平成24年には、支部創立35年祝賀会を盛大に執り行いました。

青森支部は、東北各支部と情報交換をしながら連携を図り、活動しております。昨年の支部総会で改選があり、新支部長のもと支部一丸となって団結し、頑張っていく所存です。

県内在住で青森支部へ未加入の卒業生諸氏や、仕事の関係で一時的に県内に住んでおられる方など、新規加入を大いに歓迎します。事務局への連絡をお待ちしております。



岩手支部

支部長 遠藤 龍一 建築工学科 昭和50年卒業

校友会の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。岩手支部総会は、本部総会後に開催しております。

今年は平成27年6月27日(土)に青森支部長の下山様をお迎えいたしまして開催いたしました。(大学・本部共行事が重なり出席祝電等頂きました。)

例年20名程の参加でございましたが、各地区の行事等が重なりまして今年は13名の少ない参加者となりましたが、初参加の方もおりまして、来年以降に期待が持てる支部総会となりました。

当支部は、参加者の高齢化が進み新規参加者の勧誘に苦慮しております。

会費は当日参加者からの徴収が主でありまして、当日参加できない方で郵送で会費を納入していただいた方には近場の方は自宅まで行って資料をお渡しし、近況をお聞きし、遠方の方には郵送と電話連絡で勘弁してもらっております。

事務局というものも最近はなくなり、役員間で連絡を取りながら支部の運営を行っております。

毎年、支部総会のほかゴルフ大会、盛岡周辺の役員の親睦会を年2、3回行っております。

今年度は、支部行事として平成27年6月27日(土)に東日本大震災の「復興の現場を訪ねる会」を開催しました。朝8時に盛岡駅前に集合しまして沿岸被災地の復興状況を視察しました(感想省略)。帰りに日本で19番目に世界遺産に登録されました「明治日本の産業革命遺産群」の中の橋野鉄鉱山を見学し夜6時に盛岡に無事到着しました。

来年度もゴルフ大会だけでなく何かを企画したいと考えております。



参加者全員での橋野鉄鉱山跡地での記念撮影

山形支部

支部長 川越 進 事務局長 野々村 則夫

<最近の活動状況>

平成27年度支部総会を、2月27日(土)に開催しました。お忙しい中、大学・後援会・校友会より5名の来賓の方にお越し頂きました。支部会員は13名参加し、大学の現状をお聞きすると共にお互いの情報交換、懇親を深めました。

平成28年度は、山形支部分会の「置賜地区」での懇親会を企画し支部の活性化を図りたいと思います。

<山形支部のフェイスブック開設>

<https://www.facebook.com/shibaura.yamagata>

支部の活動案内や情報を発信していきます。

皆様是非ご覧ください。



平成27年度総会時

宮城支部

事務局長 黒澤 真人 建設工学専攻 平成12年卒業

宮城県支部は諸先輩方の尽力により、昨年35周年の節目を迎えることが出来ました。

現在、平成26年卒業の会員から昭和33年卒業の大先輩が在籍しており、年齢を超えて会員相互の親睦を深めています。

以下、宮城支部の活動の一部を紹介します。

○支部新春交流会

例年2月開催 30名程参加

○支部定時総会・懇親会

例年6月開催 大学・校友会・後援会からの来賓を含め40名程参加



平成27年度定時総会
平成27年6月25日

○親睦ゴルフコンペ

春・秋季 2回開催 他県支部からの参加者を含め10～15名程参加

○芝浦工業大学生涯学習センター主催のロボットセミナー

例年、5名程の支部会員がお手伝いさせて頂いております。

○芝浦工業大学後援会主催の父母懇談会

例年、若手を中心に5名程度が懇親会に参加し交流させて頂いております。

○平成以降に卒業した若手による親睦会

年に1～2回程度開催 5～10名程参加

○支部便り

年1回発行 会員の近況報告等

以上が支部としての活動となりますが、趣味の合う会員同士でゴルフやバイクツーリング等も楽しんでおります。

今後より一層、校友の輪を広げていけたらと考えておりますので、宮城県在住の卒業生の皆様、是非一度ご連絡ください。

Facebook：芝浦工業大学校友会宮城支部

<http://m.facebook.com/SIT.KOYUKAI.MIYAGI/>

福島支部

支部長 斎藤 敬一郎 建築学科 昭和34年卒業

福島支部は昨年新体制に移行しました。現在は、斎藤支部長の下で活動しております。

福島支部結成から20年が経過し、平成27年11月に20周年の記念式典を「ホテルハマツ」(郡山市)にて開催しました。

来賓として大学から横田常務理事、宮城支部から鎌田支部長をお招きしました。式典では20年間の支部活動状況を振り返り、また、記念講演として、当時野球部員であった景山様から昭和36年11月東都大学野球一部リーグ初優勝の逸話を聞き懐かしい思い出に浸りました。

式典終了後の祝賀パーティーではアルコールを片手に昔話に興じました。また、福島市で活動している「福島ギター合奏団」の演奏を聴きながら楽しいひと時を過ごしました。

総会は毎年6月ごろ開催しております。福島支部の特徴は、「アットホーム」な雰囲気を持っていることです。時には家族も巻き込んだの一泊懇親会(会津高杖セミナーハウス)も開催しますし、郡山市内での懇親会を開催することもあります。

卒業生の皆様、先輩の話聞いてみませんか。昔話などしてみませんか。一緒に楽しみましょう。ご連絡下さい。



栃木支部

支部長 宇塚 典夫 土木工学科 昭和37年卒業

栃木支部は、昭和59年の第1回支部総会から、昨年度で30周年を迎えることができました。そのため、この30年間の記録を後輩に残すとともに、今後の支部活動の活性化を目指して、「栃木支部30年のあゆみ」を発刊いたしました。

平成27年度の「栃木支部総会」は、昨年11月14日に校友会より枝広副会長の出席を賜り、開催いたしました。総会後の研修会では、会員による活動報告や昨年9月に本県を襲った台風による被害報告、さらには枝広副会長からの大学および校友会の現状についての説明を受け、大変有意義なものとなりました。その後、懇親会を開催し会員相互の親睦を深め、情報交換の場となりました。

今後とも、会員の支部への参加を呼びかけ、栃木支部の活性化を目指すとともに、会員の輪を広げ、芝浦工業大学の発展に寄与していきたいと考えております。栃木県在住の卒業生の皆様の参加をお待ちしております。



茨城支部

支部長 村田 省吾 建築学科 昭和43年卒業

茨城支部総会は例年通り年末の12月5日(土)に水戸市内の「三の丸ホテル」にて開催しました。来賓として、学校から専務理事の早乙女徹様、校友会から副会長の前野和博様のご出席を頂き、母校の近況等を拝聴して昔の学生生活に心が高鳴る思いに浸りました。

また、今回は茨城県副知事の楠田幹人様をお迎えし「茨城県における今後の展望」という題名でのご講演をいただき、大変好評でした。

茨城支部会員57名を含め総勢60名での総会、懇親会は会員相互年代を超えての情報交換の場となり熱気にあふれ、最後は校歌斉唱での締めくくり、次年度の再会をお約束しての終了となりました。益々、校友会の絆を広げていく事が私達支部会員の第一歩です。

次回には1人でも多くの卒業生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



埼玉支部

支部長 吉池 富士夫 金属工学科 昭和51年卒業
 前支部長 泉澤 定雄 建築学科 昭和46年卒業
 事務局 板垣 真人 建築工学科 平成9年卒業 (文責)

私たち埼玉支部は、支部内に大宮キャンパスを抱えており、大学とは密接な関係にあります。そのため校友のみでなく、在校生とも積極的に繋がりを持ちながら、校友会活動を進めております。

昨年4月、春の行事として、埼玉県内の名所・旧跡を巡りながらの校友親睦を図る日帰り旅行「深谷の酒蔵めぐりの旅」を企画し、懐かしい皆様方との交流と母校の近況等を語り合いました。平成28年の春の行事は、「小江戸川越の旅：蔵作り町散策と醸ん楽座見学の旅」を企画しております。平成29年も同様に開催したいと考えております。

また、平成27年度埼玉支部総会は、大学専務理事、後援会会長、校友会副会長、さらには東京総支部、多摩支部、神奈川支部、群馬支部の近隣支部の役員のご出席を賜り、校友



52名参加のもと大宮キャンパスにおいて開催いたしました。長年、支部長としてご尽力いただいた泉澤定雄氏が相談役に着任され、吉池富士夫支部長、富山光行副支部長のもと新生埼玉支部として出発いたしました。懇親会の場では、SIT46の奏でる音楽を聴きながら、会員相互の親睦はもとより現役の学生とも交流を深めました。

今年度支部総会は、10～11月を予定しております。校友の皆様のご参加をお待ちしております。

東京総支部

支部長 大丸 征史 電子工学科 昭和39年卒業

東京総支部の特徴の一つである、企業で幹部として活躍されている校友の方に顧問、幹事に就任していただいております。今年度も新たに12名の方に顧問に就任していただき57名となりました。一方、幹事は55名で毎年、在校生の就職支援や交流会にご協力いただいております。

主な活動として、本年も父母懇談会(豊洲、田町で二日間)に若手卒業生(約20名)による就職体験談の披露や、毎年11月初旬に開催される支部総会に恒例となった文武両道で活躍しているクラブ(3～4チームの代表)を招待し、激励と共に校友会への理解を先輩方にお願ひし懇親を図っております。

現在、東京総支部の活動はベテラン会員の方が主力ですが、中堅若手卒業生にも参加していただき融合を図っていかれたらと考えております。

是非、お一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。



多摩支部

支部長 谷川 潮 機械工学第二学科 昭和45年卒業

校友会多摩支部は支部規約に基づき会員相互の交流。親睦をはかり、大学並びに校友会の発展に寄与する事とする。を大きな目的としております。

平成26年度の活動は、更なる支部活動の活性化を主眼に参加会員はもとより役員一丸となり会員の安否と参加を促すための活動を行ないました。多摩支部の会員の多くは三鷹から立川周辺を中心にほぼドーナツ状に散在しております。積極的に参加される会員は年齢的にも大卒2年～3年の方、他に参加される多くの方は55歳以上の方が主流です。

昨年度は更に参加率を上げる為、このような年代の方々を中心に直接電話をかけ又、役員が中心になり往復ハガキにて丁寧な手法で安否並びに活動参加を確認しました。27年度



総会には久々に参加された方々が多く出席され盛り上がった総会と懇親会になりました。その他活動では9月に会員の地理的な条件を生かし東銀座の校友会で話題の「わいん厨房たるる」で支部連絡会を行いました。帰りには「男と女のワイン術」を学んで楽しいひと時をすごしました。そのほか10月に多摩支部地域内(立川昭和記念公園)で行われた第92回東京箱根往復大学駅伝競走予選会に多数参加し喉をからし、楽しい応援をするなど定期的な連絡会を行なっております。これからも更なる楽しい交流・親睦会(連絡会)を企画しております。支部の皆様のご参加を是非ともお待ちしております。

神奈川支部

支部長 安藤 脩二 電気工学科 昭和35年卒業

当支部は、活発に活動していた歴史ある湘南支部が横浜支部を吸収合併して新生神奈川支部になり、来年度で創立30周年を向かえます。現在、創立記念支部総会を企画しています。活動の主体は、校友会全国総会への近隣支部としての前線的な参加応援です。更に、会員がご家族と楽しく遊べる場として湘南の海岸で地引き網を開催しています。毎年約100名の方々が網を引き魚に触れて楽しんでいきます。この様な活動を実施する為に19名の役員が2ヶ月毎に役員会を開きスキンシップを維持し、支部活動の企画や運営を協議し、本部や大学の情報を受けて色々な活動に対する協力体制を作り上げています。支部員へのお知らせは、大学広報課のご協力を得て広報誌に支部総会案内文書などを同封して、6,700名に配布しています。今後は、更に会員相互の親睦の輪を広げる為に、イベント毎の参加者を増やす仕組みと新しいイベントの企画を推進して行きます。



新潟支部

支部長 臼井 静男 土木工学科 昭和48年卒業

平成27年度10月24日校友会新潟支部総会が行われました。新潟県は南北長い県で、下越、中越、上越に分かれており、各分会があります。

各分会で親睦会を中心に活動しております。

平成27年の総会では、28名の会員が集まり総会を行いました。総会が終わりしだい、懇親会を行い、交流して親睦を深めました。総会には40代、30代の若い人たちが8名来ていただき非常に盛り上がりました。

これからも芝浦工業大学の発展を願ひし、校友会新潟支部の隆盛のため新潟支部役員一同、一致団結して頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



富山支部

支部長 川崎 政善 建築学科 昭和45年卒業

全国でご活躍の校友の皆様、そして世界に雄飛の皆さまこんにちは。

富山支部が北陸三県の連絡組織から独立し、正式に発足したのは昭和53年秋のことでした。現在会員名簿には昭和18年に卒業された有澤富成大先輩を始め500人余りが登録され、それぞれの持ち場で元気に活躍されています。特に多くの校友が所属されるYKK (AP) や工業系の主要な企業、そして役所、また自らの事業を経営される方々も多数いらっしゃいます。

昨年、特に嬉しかったことは毎年富山市で開催され27回の歴史を持つ「東京理工六大学OBゴルフ大会」で本学が優勝したことです。地元新聞に大きく報道され母校の名声を大いに高めることが出来ました。代表の石本剛さん(S51土木卒)の「昨年2位の悔しさを晴らせた。来年も優勝を目指す」との力強いコメントが掲載されました。校友の絆を実感し、誠に誇らしいことでした。



長野支部

支部長 北村 武彦 建築学科 昭和45年卒業

県内の地勢、公共交通網の関係から、県下に3地区の地域の会(分会)がある。地域の会ごとの活動がそれぞれあるが、支部としての活動は、1月下旬に開催される総会兼新年会が唯一であり、これに学校または校友会事業への参加協力が加わる。学校及び校友会来賓による学校等の活動、社会的貢献の情報を伺うことと会員相互の交歓が楽しみとなっている。

本年の総会(写真)には新たな参加者4名が加わり、また職場同僚、同卒年のグループが複数あり、新年会の賑わいは相当のものとなった。会員勧誘の一案としての効を奏したと思っている。

前述の地域の会が新たに立ち上がろうとしている。偶然の交際が起点となり、創設の行動を起こしてくれる方がいて頼もしい。

地域の会相互の交流と県内卒業生への支部情報の提供が資金の上からも今後の課題となっている。



福井支部

村上 一幸 土木工学科 昭和60年卒業

福井県支部は、母校への愛情と誇りを胸に活動しており、毎年7月下旬には本部や大学から来賓をお迎えしての総会(写真)、2月には「新年の集い」を開催し、会員相互の情報交換と親睦を図っています。総会や「新年の集い」の最後には全員で校歌を斉唱し「われらが母校」へ想いを確認しております。

特徴的な活動としては、10年以上前から会員が県内各高校の進路指導部を訪問し、大学の魅力や強みをアピールするとともに、高校生に受験を呼びかける「受験者拡大運動」(写真右上)を行っており、熱心な会員の姿勢は県内高校に広く知られるところとなっています。

また、平成24年には県内の皆さんに母校を紹介する「魅力発信講座」を実施しており福井県という地理特性から関西・中部地方へ進学する学生が多いのは現状ではありますが、これからも地道な活動を粘り強く続けていくつもりです。



静岡県同窓会支部

支部長 鈴木 和幸 土木工学科 昭和50年卒業
http://www.geocities.jp/shibaaura_shizuoka

平成27年度第38回支部総会を7月4日(土)に開催し、来賓9名を含め40名もの会員が集まりました。

I部の支部総会は前年度の事業・会計・監査報告、新年度の事業計画の審議をし、拍手による可決を受けました。

II部の懇親会は、愛知の平塚支部長、岐阜の平井支部長、神奈川の赤井副支部長の各来賓から挨拶を頂きました。そして例年にも増してビンゴで盛り上がりました。

平成27年9月12日(土)13日(日)には静岡市葵区の静岡市立高等学校に於いて、「少年少女ロボットセミナー in 静岡」を開催し、小中学生58名が参加しました。佐々木毅准教授は「ロボットとはなにか」と題し講演し、ロボットが動くメカニズムや自身の研究について紹介され、リモコン操縦の6足歩行ロボットの組立て、デザインコンテストやロボット同士を土俵上で戦わせるバトル大会が行われ、静岡市長との記念撮影も行い、盛大に終了しました。また、このときの入賞者3名が11月の全国大会に参加し、ボクサー部門で2年連続優勝し、静岡の高いレベルが実証されました。



愛知支部

支部長 平塚 秀雄 電気工学科 昭和40年卒業

当支部では、「支部活動の活性化」を重点に会のPRと行事への参加呼び込みに努めています。特に、支部総会の呼びかけについては、新卒者等への連絡漏れの無い様、大学に名簿の送付をお願いをしたり、多くの校友が在籍する企業に数年前から設けている「連絡キーマン」をお願いして誘い込み活動を実施中です。

役員及びキーマン等の努力により、ここ数年は支部総会参加の校友は50名を超えて大変な賑わいとなっており、又、春・秋のゴルフコンペも20名前後の参加を頂き、楽しい会になっています。各種イベントでは、後援会東海支部役員との協力体制も定着化してきた、感謝しております。

☆平成28年度主要イベントの一部は下記の通りです。予定に入れて頂きたく思います。

- (1) 春・秋の芝浦会ゴルフコンペ (初心者大歓迎)
第44回:5/21(土), 第45回:11/中旬
- (2) 第40回愛知支部総会 (多くの新人が参加されています)
7/9(土)
- (3) 少年少女ロボットセミナー (大学主催講座に指導員として協力)
7/30(土)・31(日)

皆様の参加を心からお待ちしております。



岐阜支部

支部長 平井 良樹 工業経営学科 昭和57年卒業

岐阜支部では、毎年、支部総会を7月に開催することになっています。活動内容は充実しているとはまだまだ言えませんが、現役多治見市長の古川氏をはじめ参加者は毎年少しずつ増えてきています。

また、岐阜県は非常に広い為、毎年支部総会を岐阜市で開催しているのですが、今後は高山市などでも支部総会を開き、さらに参加しやすい環境を整えて行きたいと考えております。

信頼し合える仲間が集い、情報交換をし、友情を深め、さらに有意義な支部としていきたいと考えておりますので、総会案内が届きましたら一人でも多くの参加をお待ちしております!



関西支部

支部長 水口 譲 建築工学科 昭和48年卒業

平成27年度の関西支部総会は11月13日にガーデンシティクラブ大阪にて開催しました。来賓として学校から五十嵐理事長、校友会からは鈴見会長を迎え、関西支部会員46名(内新卒9名)の総勢48名での支部総会となりました。

今回は、若手会員の企画による「全員参加の楽しい支部総会」をテーマに実施しました。受付時に撮影した全員の顔写真入りの名簿を配布、また全員参加のクイズやゲームを行うなど、例年になく盛り上がった総会となりました。会の最後には校歌斉唱・エール・集合写真撮影を行い閉会としました。

なお支部総会翌日の恒例の親睦ゴルフコンペには、五十嵐理事長・鈴見会長にも参加していただき、和気あいあいの中で開催する事が出来ました。

関西地区在住の卒業生の方々には、支部総会・親睦コンペには是非参加して頂ける様、心よりお待ちしております。例年11月第3金曜日が開催予定です。



鳥取支部

支部長 富本 哲郎 電気工学科 昭和40年卒業

鳥取支部は、会員数53名（連絡ができる会員）の全国一小規模な支部です。

支部活動は、定期総会・分会・新年祝賀懇親会など年3回の集会を企画し、一人でも多くの会員が参加し、懇親・交流が深まる機会としています。

今年は、支部創設10周年記念となる「第10回鳥取支部定期総会 & 懇親会」が、常任理事横田壽教授、校友会副会長谷川潮氏、校友会常任幹事岡本嘉行氏のご臨席をいただき開催されました。総会に先立って、校友会副会長谷川潮氏により「芝浦工業大学S.G.Uになる」のテーマで講演があり、芝浦工業大学がスーパーグローバル大学としてさらなる躍進をめざしていることを知りました。

また、7月末には、鳥取支部共催で、10周年記念事業「少女ロボットセミナー in 米子2015」を開催し、地域の子供たちが「ものづくり」のおもしろさや楽しさを体験する機会をお手伝いすることができました。



島根支部

足立 正智 建築工学科 昭和53年卒業

島根支部の登録会員は100名弱ですが、総会などへの参加は20人に満たないということがほとんどです。何とか支部活動を活発にと思い、まず総会に会員の発表の場を設けました。会員にこれまでの仕事や活動の中からテーマを選んでもらって、それを45分程度で紹介してもらいます。第1回的小草さんからは、建築の仕事のアフリカはじめヨーロッパで行った経験と共に話して頂きました。2回目は竹田さんに食事と健康、人間の健康を害するものは何か、良い食事、悪い食事をご自身の研究の中から話して頂きました。これによって参加会員が増えたということはまだありませんが、好評をいただいています。今年は誰にどのようなテーマでお願いしようかと思いますが、芝浦の卒業生は多彩な方が多く、人選には困りません。総会ばかりではなく、支部ごとの活動などもこれから少しずつでも固定させるようにしていきたいと思っています。



小草さん講演中

広島支部

支部長 立木 貢 土木工学科 昭和43年卒業

校友会広島支部は昭和57年に設立され現在校友会会員は368名登録されております。

校友会支部の主な活動は会員相互の親睦を図ること、並びに大学・校友会本部との連携により母校の発展に寄与することと考えております。

会員相互の親睦を図る最大のイベントである定期総会・懇親会は昨年（平成27年）の11月6日（金）に開催し、来賓として本校より横田常任理事、校友会本部より校友会副会長、他多数出席して頂き会員一同大変感謝致しております。

また会員は近年にない52名の多くの出席者があり総勢57名で盛大な総会・懇親会をとり行うことが出来ました。

一方、大学主催のイベントであるロボットセミナーのお手伝い、並びに後援会主催の父母懇談会への出席等大学との連携を行ってまいりました。

支部独自の行事としては年2回程度のゴルフ大会・釣り大会・囲碁大会（5～6回/年）等を行っており会員の多数の参加をいただいております。

今後共大学、校友会本部、後援会との連携を図り少しでも母校の発展にお役にたてる様頑張っております。



山口支部

事務局 片山 克浩 土木工学科 昭和63年卒業

山口支部は、平成5年（1993年）に発足し、現在の会員数は、約70名です。

また、毎年10月下旬から11月上旬に総会を開催しており、平成27年度は11月7日（土）に山口市で総会と親睦ゴルフを開催しました。

総会においては、校友会本部と大学からお越しいただいた来賓の方より、母校芝浦工業大学の近況等について説明していただき、その後の懇親会では、親睦ゴルフの結果や会員の近況、学生時代の思い出話などに花を咲かせ、最後に全員で恒例の校歌を斉唱するなど、会員相互の親睦を深めました。

一方で、当支部では、近年の総会等への参加者が固定化し、平均年齢も上昇しているため、会員間で情報交換しながら、新規会員の募集に努めているところです。

つきましては、山口支部への入会を希望される方は、事務局（片山：TEL 090-2000-4772、E-mail kkata27stars@red.megaegg.ne.jp）までご連絡いただくと幸いです。



香川支部

支部長 乾 篤之 電気通信工学科 昭和 45 年卒業

香川支部は、平成 19 年に活動を再開し、来年度に区切りの 10 年を迎えます。

現在、香川支部は、事務局を高松市に置き、会員登録が約 100 名、これを若い世代を含めた少し多めの役員約 30 名で運営しております。

また、香川支部の特徴でもあります、県の面積が日本で一番小さく、県庁（都）高松市を中心に県内域が概ね 1 時間圏域であることを幸いに、支部の定期活動である新年会（1 月末）、総会 & ゴルフコンペ（4 月中旬）、暑気払い（8 月初旬）、忘年会 & ゴルフコンペ（11 月末）を、多数の会員参加のもとで開催しております。

さらに、支部内では、ゴルフ、飲み会、親子でのイダコ釣りなどを通じて個別に、また四国の他支部や本部校友会とは、総会、親睦ゴルフなどを通じて相互の交流を深めており、このような校友の輪を更に広げていきたいと考えております。



福岡支部

支部長 角 敬之 工業化学科 昭和 45 年卒業

福岡支部は、平成 18 年の再発足以来 10 年が経過し、今年からはこれ迄の活動を踏まえ、新たな段階に踏み出そうとしています。

昨年は、6 月の全国総会で中村宣壽相談役が本部から「功労者表彰」を受け、8 月の支部定時総会では会員の参加者は 30 人以下と少なかったものの、五十嵐理事長を始め、大学、校友会本部、佐賀・宮崎・鹿児島各支部や後援会の皆様のご臨席を頂き、盛会裏に開催することができました。また、10 月には、恒例の湯布院での親睦会（ゴルフ・懇親会）や、建築系学科の懇親会を行いました。

さらに、大学主催のロボットセミナーや後援会主催の父母懇談会に際しても、毎年支部を挙げて支援しています。父母懇談会時には九州・沖縄ブロック会議を当地で開催し、他支部との交流を図っています。今後は新たな時代に向けて、更なる校友会の活性化や拡充・躍進を図り、支部会員一丸となって邁進していく所存です。



佐賀支部

支部長 山田 清人 通信工学科 昭和 48 年卒業

佐賀支部総会は平成 27 年 11 月 7 日、佐賀市の「浪漫座」で開催。この場所は佐賀市歴史民俗資料館という、鹿鳴館を思わせるような百年の歴史を持つ情緒ある木造建築で、優れた環境の中に位置しています。

講演会は 27 年度から佐賀県庁に勤務されている川口情報企画監に「マイナンバー制度について」のテーマで実施。川口さんは芝浦工大機械科 OB で佐賀県の情報管理役として全国公募の中から採用された方です。

若い人の会員が少ない中、地元企業に採用された新人が会員として加入。久しぶりに若返りました。今回も在校生の保護者が参加。就職情報など意見交換をしました。

また、新しい試みとして、参加者全員で絆を深めて歌おうということで、ミニライブを企画。「浪漫座」の心地よい雰囲気の中で楽しいひと時を過ごしました。



熊本支部

事務局長 田中 純司 工業化学科 昭和 53 年卒業

平成 27 年度も 9 月 8 日（火）に熊本ホテルキャッスルで熊本支部総会・懇親会を校友会本部、九州から福岡・宮崎・鹿児島各支部長、大分は相談役の出席を頂き、約 30 名で盛大に開催しました。2 次会・3 次会も楽しく懇親を深めることができました。

今年度は、平成 22 年から 5 年間にわたり熊本支部の牽引役として勤めていただきました三角支部長が勇退され、熊本支部の顧問であった永田氏が支部総会において新支部長として全会一致で選任されました。前支部長は相談役として、益々の活躍をお願いいたします。



永田新支部長

熊本で東都リーグの各校同窓会が合同で行っています“第 19 回東都リーグ大同窓会”は、平成 27 年度は 5 月 9 日（土）に開催されました。芝工大が幹事校で小口泰平名誉学長を講演者にお迎えし「いよいよ変わるモノ・コト創り」の演題で特別講演会を行っていただきました。全体で 14 校・200 名以上の参加で、芝工大の 20 名と例年を大きく上回る出席でした。



平成 27 年度熊本支部総会集合写真
(前列：左から 3 人目が永田支部長)

沖縄支部

石渡 一義 土木工学科 昭和 57 年卒業

沖縄と言えば、青い海、青い空。その一方で、米軍基地負担。その過重な基地負担軽減の為、政府は基地の返還を進めています。返還された基地跡地は、地権者の生活と地域の発展の為、迅速な活用が必要となります。

米軍のゴルフ場であった北中城村アワセゴルフ場跡地は、返還後 5 年以内の活用を目標に取組ました。土木は、都市計画、環境影響評価、交通計画、土地区画整理。建築は、イオンモール、中部徳洲会病院（設計担当者は芝浦 OB）との調整。結果、平成 22 年 7 月の返還から 5 年以内の平成 27 年 4 月には、イオンモール沖縄ライカムの開業を迎え、同時に土地区画整理のまびらきも行いました。今後は、村立多目的アリーナやペDESTリアンデッキ等の建設も始まります。

今後、沖縄では各地で跡地の開発が始まりますが、土木・建築の技術者が不可欠です。支部活動は、技術者のネットワーク作りにも貢献しています。



英交会支部

國北 圭二 機械工学第 2 学科 昭和 56 年卒業

英語部 OB が構成する英交会は設立以来 50 年を経て、現在 450 名の会員で構成されています。

現役学生との交流を重視しており、社会人から学生へのアドバイス等により、進路等の支援を行っています。

2015 年 9 月新たに、英交会員の活躍する地域訪問として宮城県への親睦旅行を 1 泊 2 日で行いました。

今後このような形で遠地在住で会う機会が少ない会員との親睦が図れる場の創出を海外も含めて計画中です。

グローバルな活動を目標に掲げ、会員間の情報交換 / 親睦を深めることを目的として、主に以下の活動を継続しています。

《活動の目的》

◆会員間の情報交換と親睦により社会人活動の活性化

◆英語部学生への部活動を支援

《2015 年度の主な活動》

5 月 英語部学生との交流会

6 月 校友会全国総会参加

9 月 英交会親睦旅行（宮城県）

10 月 箱根駅伝予選会応援

11 月 第 51 期英交会支部総会

12 月 忘年会

1 月 校友会賀詞交歓会参加

2 月 英語部 4 年生追い出しコンパ参加

その他 英交会役員会（6 回）



機械工学科同窓会支部

支部長 高木 光一 機械工学科 昭和 48 年卒業

機械工学科同窓会支部は、校友会の学科同窓会支部の 1 号として 2012 年に設立された新しい支部です。ただし、現在のような同窓会としての活動は、昭和 47 年ごろから同窓生の有志が集まり定期総会を開催するなど、活動を始めてきました。

また昭和 50 年代からは、会員相互の親睦を図るとともに芝浦工業大学機械工学科の良き伝統を伝承し、社会に貢献することを目的に、会員名簿の発行、同窓会報の発行、総会、幹事会、在校生との懇親、講演会などを掲げ事業を行っています。

会員名簿については、個人情報保護の観点から、発行を中止していますが会報などを届けられるように名簿のメンテナンスは絶えず進めています。会報の発行は毎年 1 回ですが、今年は第 33 号を発行します。

大学および在校生の皆さんとの接点も大切にしており、新入生のオリエンテーションに協賛したり、卒業生にはささやかですが卒業記念品を贈呈しています。平成 24 年からは、3 年生後期・機械ゼミナール 1 で PBL（問題解決型学習）の授業にコーチ役として参加しています。



柔道部 OB 会

支部長 早川 金光 建築学科 昭和 51 年度卒業

平成 27 年 7 月 11 日に OB 会総会が多くの OB と現役学生が参加し、盛大に開催されました。杯を交わしながら、昔話に花が咲き、近況を語り合い、お互いの健康を気遣い、それぞれが有意義な時間を過ごしました。本年の総会は 7 月 9 日を予定しております。

毎年 6 月と 12 月に関東理工科四大学柔道大会が開催されます。出場校は東京理科大学、日本工業大学、東洋大学工学部と我が芝浦工業大学です。大会の度に熱戦が繰り広げられてきましたが、ここ数年は部員の減少により、団体戦に出場する選手数が足りない大学が出てきております。我が校は何とか選手は揃いますが、厳しい状況にあることは間違いありません。部員の確保が部を存続させるための重要な問題となっております。

4 月 28 日には講道館で「全国柔道高段者大会」が毎年開催されます。平成 27 年の大会には、8 段の部に橋本五十夫先輩と英道生先輩が、7 段の部に跡部峰嗣先輩と不肖私が、5 段の部に西郷一夫君が出場いたしました。間中監督の元、学生は稽古に励んでおりますが、頑張っている先輩の姿が現役学生の刺激になればと思っております。

最後になりますが、校友会発展のために我が OB 会も出来る限りのご協力をさせていただきますので、今後共々よろしくお願いいたします。



昨年の出席者

剣道部 OB 錬心会支部

支部長 阿部 安行 建築学科 昭和 45 年卒業

体育会剣道部 OB 会が支部として承認頂いてから早 5 年目となります。この間、現役部員の支援はもとより、全国総会準備委員会や東京総支部への参加協力、本部役員の選出等、校友会の発展に微力ながらご協力して参りました。東京オリンピックの年(2020年)に、剣道部は創部 60 周年を迎えますが、この年に向けて、グローバルな「文武両道」の剣道部員を育成すべく、後輩の支援・指導を致します。又、錬心会支部は、大学並びに校友会の発展に寄与出来る活動を致したく考えております。

支部長 阿部 安行 (S45 年建築学科卒)
副支部長 小坂 善雄 (S45 年工業化学科卒)
副支部長 尾立 守道 (S46 年土木工学科卒)
幹事長 鶴 崇 (S46 年建築学科卒)
幹事 筋野 豊司 (S56 年機械工学第 II 卒)
角田 隆二 (S59 年土木工学科卒)
監督 飯島 敏春 (S54 年機械工学科卒)
事務局長 島田 恭史 (S59 年機械工学科卒)
会計 進木 正博 (H1 年機械工学科卒)
会計監査 大久保勝示 (S47 年建築学科卒)



ハンドボール支部

副支部長 大村 俊樹 機械工学第 2 学科 昭和 56 年卒業

2014 年 6 月に承認されたハンドボール部 OB 会支部です。会員数は約 110 名で毎年 10 月の末に OB 総会を開き親睦を深めています。2015 年度は、2015 年 10 月 31 日(土)に総会が開かれ、参加者 16 名プラス現役学生 4 名(主将、マネージャー)も参加して和やかな雰囲気で行われました。写真はその時のものです。今年度の総会では、新しい役員体制が発表になり、新会長に井出恵尉、副会長に大村俊樹が選ばれました。

その他の活動としては、年 1 回の総会のほかに、現役の試合の応援や合宿での指導、合宿費の援助など、現役のチームが少しでも強くなるように支援活動をしています。

支部長 井出 恵尉 (S40 年工業経営学科卒)
副支部長 大村 俊樹 (S56 年機械工学第 II 学科卒)
幹事 池田 鉄哉 (S40 年電気工学科卒)
中村 崇 (S40 年電気工学科卒)
事務局 河村 登 (S60 年土木工学科卒)
会計 大岡 忠仁 (S59 年機械工学第 II 学科卒)
川合 誠 (S60 年土木工学科卒)
会計監査 大桐 誠 (S56 年土木工学科卒)
大森 雅樹 (S59 年機械)



硬式野球部 OB 会支部

幹事 森本 静 工業経営学科 昭和 50 年卒業

硬式野球部 OB 会が校友会支部となって 3 年が経過致しました。活動の目標は会則にもありますが「会員相互の交流、親睦を図り芝浦工業大学の発展に寄与することを目的とする」となっております。また、会員は野球部出身以外にも「本会に功績があり、本会役員の推薦より認められたもの」ともなっております。また、硬式野球部 OB 会としては発足して 21 年となります。

総会は、例年 11 月の最終(土)に開催。総会終了後は現役選手を交え激励会と懇親会を実施。OB 及び関係者の皆さん共にコミュニケーションを計ります。平成 27 年度は 11 月 28 日(土)に豊洲キャンパス食堂に於いて開催いたしました。(写真)

今後の目標は、若い OB 達にも積極的に総会に参加して頂き、芝浦工業大学・校友会・硬式野球部の発展に努めて行きたいと思っております。



ギター部 OB 支部

支部長 渋谷 雅信 建築学科 昭和 53 年卒業

- ① 2015 年 11/19 (木) 分会「五期会」の設立承認
- ② 2015 年 12/12 (土) 支部総会および交流演奏会(校友倶楽部) ※右の写真
- ③ 2015 年 12/20 (日) 現役第 52 回定期演奏会 鑑賞(光が丘 IMA ホール)
- ④ 2015 年 12/25 (金) 昭和 53 年卒の同期還暦忘年会(九段下:味さと)
- ⑤ 2016 年 1/22 (金) 校友会新年賀詞交歓会(芝浦校舎 8 階教室) ※イベント演奏(箏演奏家の喜羽美帆さんとのギターコラボ演奏:春の海)
- ⑥ 2016 年 2/13 (土) 昭和 52 年卒の同期会(九段下:味さと)
- ⑦ 2016 年 3/6 (土) SGE-41 の演奏会鑑賞(予定) (千葉県我孫子市湖北地区公民館) ※「ギター合奏による音楽の旅」



スキー部 OB 会支部

小川 博司 工業経営学科 昭和 45 年卒業

スキー部 OB 会は平成 27 年度総会を 7 月 11 日（土）五十嵐理事長、鈴木校友会会長にご出席頂き札幌で開催いたしました。

総勢 23 名の OB が参集し、盛大に行われました。

また、11 月 7 日には芝浦工業大学スキー部 OB が幹事となり、インカレで競い合った各大学の昔の名選手の集いと称し、「インカレ卒業生の集い」を札幌 KKR ホテルで 11 大学 37 名が出席し、盛大に開催いたしました。

12 月 3 日には、東京の銀座ライオン新宿エルタワーで総勢 10 名で忘年会を開催いたしました。

2016 年初夏には関東地区でゴルフのコンペを企画しております。



忘年会
銀座ライオン新宿エルタワー



2 部ワンダーフォーゲル部

支部長 梅元 千代志 電気工学科 昭和 41 年卒業

2 部ワンダーフォーゲル部半世紀のあゆみ、それは芝浦工大工学部第 2 部の歴史でもあります。

1956 年（昭和 31 年）芝浦工大に工学部第 2 部電気工学科と機械工学科が 5 年制大学として開設されました。

2 年後の 1958 年には、有志が集まりワンダーフォーゲル部を創部しました。そして第一期生が卒業した 1961 年（昭和 36 年）には、OB 会が発足しました。

創部当時より全日本ワンダーフォーゲル部連盟や関東連盟に所属し、他大学との交流も盛んに行われておりました。

2008 年（平成 20 年）3 月には、大学の制度改革に伴い田町の学舎が無くなり 2 部ワンダーフォーゲル部も消滅しました。

現在、登録会員数 120 名、その半数が還暦を迎えた諸兄の集まりです。随時に開催される定例会でお互いの近況を伝え合いながら、50 年史の発刊が待たれるところです。



芝浦技術士会

支部長 大原 武光 電気工学科 昭和 37 年卒業

芝浦技術士会支部は、2008 年 3 月に設立した「芝浦技術士会」が母体です。会員は建設、電気・電子、機械、他 18 部門に所属しており、技術士、技術士補を含め延べ 280 人です。

2012 年 11 月 30 日校友会支部となりました。日本技術士会や大技連などの他機関とも関連し、校友会と母校の発展に寄与したいと活動しています。具体的には 2009 年



4 月より継続している「技術士受験対策講座」（電気・電子部門は 2004 年より開始）や、2011 年 10 月より継続している CPD（技術研鑽）講座の実施などです。今年度も技術士試験対策講座 4 部門、計 6 講座（38 回）を開講し、第 5 回 CPD 講座「原子力発電所の電源確保と安全稼働」に続き、第 6 回（'15 年 11 月）、第 7 回（'16 年 3 月）実施しました。更に 2015 年 9 月の実学サロン講師、及び企業内技術士会に参加し活動しております。本支部が保有する技術資源を生かし「技術士」育成に貢献して参ります。また、技術士を「技術資源」として活用頂くようお願い致します。芝浦校友会員、大学教員の皆様のご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。



MOT 同窓会支部

支部長 西河 洋一 大学院工学マネジメント研究科 平成 21 年卒業

「芝浦工業大学校友会 MOT 同窓会支部（MOT 同窓会）」は、芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科（MOT）で得た知識を活用させ、修了後も会員相互の親睦と情報交換を行うことで技術経営者としての活動をより深めることを目的に開設されました。MOT の修了生は、2015 年 9 月 4 名と 2016 年 3 月に 13 名の合計 17 名が修了し、1 期生からの修了生は、延べ 233 名となりました。

MOT 先生を囲む会（2015 年 9 月 29 日）の開催

MOT 同窓会支部のイベントとして、「第 3 回 MOT 先生を囲む会」を企画し、2015 年 9 月 29 日に芝浦キャンパス 7 階の校友サロンで開催しました。登場いただいた先生は、加藤恭子 准教授（2014 年着任）です。専門の分野は、「組織行動論」「人的資源管理論」です。海外経験豊富な加藤先生の講演を聞いた後、和やかな中で意見交換がおこなわれました。

（連絡窓口）事務局長 志手 一哉（5 期生）

Email : shide@shibaura-it.ac.jp;



加藤先生を囲む会（2015.9.29）

三芝会

支部長 釜井 重一 建築学科 昭和 55 年卒業

2016年3月4日(金)に芝浦工業大学校友会倶楽部にて支部総会・懇親会を開催いたしました。芝浦工業大学からは五十嵐久也理事長、校友会からは、鈴見健夫会長、岩本行雄事務局長に出席して頂きました。MOTからも田中秀穂、堀内義秀教授が出席されました。

当会からは正会員が12名、賛助会員9名、総勢では24名の参加を得ることが出来ました。総会では、新役員候補の自己紹介を行い、満場一致で新役員全員を承認していただきました。懇親会に移っては、教授からMOTの紹介があり、MOT出身者との掛け合い漫才あり、歓談のあと、恒例の各会員の近況の報告などを興味深く拝聴しました。上は76歳から、下は24歳とおじいちゃん和孫の会話にも似た、和気あいあいとした大変和やかな会となりました。我々は大変小さな職域支部です。『継続は力なり』と結成当時の心意気を大切に地道に校友会活動に貢献して行きたいと思っています。



住芝会

支部長 南山 佳徳 電気工学科 昭和 62 年卒業

住芝会は平成14年1月に発足し、今年で14年目となる職域支部です。住芝会の活動としては、年に1度支部総会及び懇親会を行っております。

昨年は9月7日(月)に支部総会及び懇親会を無事開催することができました。

大学側から早乙女専務理事・本間先生・南先生・佐々木課長、校友会から林田副会長・野末様にご出席いただき、大学の現状や校友会の活動の報告等のとても有意義なお話を聞かせていただきました。

懇親会の最後には、頂戴した支部旗をバックに全員で校歌を合唱し、盛会裡に会を閉じることができました。

今年も9月に支部総会及び懇親会を予定しており、更なる会員相互の交流と親睦を図る予定です。

会員は現場従事者が多く、一堂に会することは少ないので支部総会は貴重な場でもあります。今後も皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら、積極的且つ継続的に校友会活動に参加させていただき所存であります。

最後に、母校芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



黒潮会支部

支部長 加藤 善次郎 機械工学科 昭和 55 年卒業

黒潮会支部は、体育会空手道部卒業生の会です。空手道部は、昭和24年に創部し、今年で創部68年目を迎えます。校友会支部としては、平成14年3月に支部認可を得、今年で15年目を迎える支部です。

我々は、本年3月5日に豊洲キャンパスで創部70周年と銘打って記念式典を開催しました。(写真参照) 大学側からは、五十嵐理事長、吉川学事部長、勝木空手道部部長、校友会からは、鈴見会長、辻村常任幹事会議長、飯島監査役、剣道部阿部OB会長、柔道部早川OB会長、理工科系大学空手道連盟からは、橋本理事長はじめ多くの来賓者と黒潮会会員、空手道部現役学生の総勢約80名で開催させて頂きました。

私は、昭和54年度の卒業ですので、昭和24年創部から丁度30代目に相当します。現役時代よりお世話になりました先輩方、コーチ・監督時代の後輩達と歓談でき非常に有意義な一時を過ごすことができ、また現役学生の演武も堪能できました。唯一この式典を最後にと楽しみにして頂いた昭和30年代卒業の多くの長老方が健康上の理由により参加できなかった事がOB会長として心残りとなりました。



清水建設芝浦会支部

支部長 中村 行男 建築学科 昭和 56 年卒業

清水建設芝浦会は平成12年3月16日に発足し、今年で16年目となりました。4月には3名の新入会員を迎え、平成26年4月1日付の会員が計146名となりました。

清水建設芝浦会では、1年に1度、総会および、新入会員を囲んで懇親会を行っております。

今年度は大学側から常任理事の早乙女徹様、校友会から副会長の林田和雄様、常任幹事の長井義明様に足をお運びいただきました。早乙女様からは、大学の状況説明を頂き、林田様からは校友会としての就職支援のお話も頂きました。懇親会では毎回、新入会員から抱負を一言と、先輩から新入会員へ激励一言を設けています。今回は、若手、中堅、大御所の先輩方から暖かい激励、考え、行動する大切さの言葉が飛び交い、「なにかあればすぐ相談。解決策は必ずある!」と後輩にエールを送りました。

38名の会場には若手の参加も全体の1/3を占めるようになり、頂戴した緑地に黄色が映える『支部旗』を前に、世代・学科・業務を超えてこの1年の成果、学科毎の就職支援などを報告し、盛会となりました。最後に芝浦工業大学のますますの発展と、校友会皆様とのさらなるご健勝を祈念いたしております。



シンガポール支部

支部長 橋本 雅夫 建築学科 昭和45年卒業

シンガポール支部は2013年年に設立された新しい海外の支部です。

日本からの出向社員とシンガポールで自分の会社を経営するなどしている人たちがメンバーです。

メンバーの多くの出向者は滞在期間が数年と短く、芝浦工大の同窓生を見つけることがなかなか難しく、15名程度の小規模な支部であります。

このことは他国の海外支部でも共通の悩みかと思えます。

それで今までに3回の支部総会を開催することができ、それに加え時折懇親会等を年数回開催し、交流親睦を深めております。

シンガポールは東南アジアの物流・交通・金融ハブとしての機能集積が進み、各国の人・物・金が集まる所であり、日系企業の地域統括会社が多数集まっております。

このようにアジア諸国の中心地となるようなシンガポールに芝浦工大のプレゼンスを高めることは大切なこと支部員は自覚し、日夜業務生活に励んでいる次第です。



タイ王国支部

支部長 川口 祐司 工業化学科 昭和53年卒業

昨年(2015年)校友会本部のお声掛けりでバンコクで卒業生の交流会が開催されました。それをきっかけとして校友会支部設立の流れとなり、7月にバンコク市内で設立総会を開催し支部設立の運びとなりました。

ゴルフ会以外まだ大きな活動には至っておりませんが、まずは継続を目指していくつもりです。



台湾支部

支部長 江 文雄 機械工学第二学科 昭和63年卒業

私は昭和59年に芝浦工大に入学、昭和63年に機械工学第二学科を卒業しました。台湾の南で生まれ、育ちました江文雄でございます。卒業して帰台、あと2年で30年の歳月になりますが、振り返って見ましたら、質実剛健な母校で機械工学分野を深く広く学んで来ました。

在学中、文化の相違や言葉のハンディキャップによりかなりの苦勞をしました。幸いに異国で埼玉県川口市に居る父の友人、篠塚安雄様に面倒を見て戴き、大変お世話になりました。今でも息子さんとは付き合い、友情が続いています。

優しい学校の先生達からご指導を授かりました。同級生、友達の教え合いにより、四年間で順調に所定の単位を修得しました。お世話になった方々に感謝の気持ちを今でも思い続けています。

工学訓練校で専門、有名な芝浦工大の卒業生の一員としての誇りを持ち、大学で習得した基礎専門学識を存分に生かして、今後の校友会台湾支部の発展や、もっと数多い台湾留學生が母校に志願就学するように力を注ぐ所存です。どうぞよろしく願いいたします。



鹿児島支部

支部長 濱田 英俊 電気工学科 昭和43年卒業

芝鹿会の27年度総会は、7月30日(土)にワシントンホテル「三十三間堂」に於いて、出席者24名で盛大に行われました。

大学からは、野口一也常務理事さん、校友会より郡司様、福岡支部より内村様、又、宮崎支部の尾形支部長をまじえての総会になりました。

現在、芝鹿会の登録者は40名位で、総会に出席されるのは約20名超です。又、新入会員は毎年1~2名おり微増はしていますが、若い人の参加がおもわしくない状態です。

一昨年は、芝浦工大名誉教授の相田武文名誉教授をおまねきして、鹿児島大学院の授業の一環として稲盛会館で開催し好評でした。又、このような催しを大学側と交渉しながら行っていきたくて思っております。そのように、大学、校友会、鹿児島支部との関係を構築して行きたいと思っております。

今後共、大学及び校友会本部、各支部との連携を図りながら、ご指導いただき少しでも母校の発展にたてる様努力していきたく思いますので、宜しくお願い致します。



中国ブロック会議

鳥取支部長 富本 哲郎 電気工学科 昭和40年卒業

平成19年11月、広島支部において、中国地区の各支部長と広島支部副支部長が集い、中国ブロック各支部の連携と懇親を深めることを目的に中国ブロック会議を毎年開催することになりました。第1回は皆生温泉で山陰の松葉ガニを賞味しながら、第2回は宍道湖遊覧を楽しみながら、第3回は湯田温泉にほっこりしながら等々、各支部持ち回りで支部を超えた交流の輪を広げる取組を実施しています。ブロック会議では、①大学・校友会との連携、②中国ブロック各支部の連携、③中国支部後援会との連携について、各支部の取り組み状況の理解や中国ブロックとしての取り組みについて協議しています。近年は、卒業生評議員の中国ブロック代表の人材確保・育成、本校受験・進学者の発掘とUターン者を含めた地元就職者の支援、大学創立90周年記念イベントの企画などが話題になっています。また、他支部の会員との交流を深めるためにも、ブロック内の各支部総会に積極的に参加するようにしています。



熊本支部とシンガポール支部懇親会

三角前支部長が市長時代に熊本の観光も国際化すると発言し、永田支部長も九州ブロック内だけでなく、海外支部との交流も必要と言っている折、橋本雅夫シンガポール支部長が熊本に来る機会があるとの情報で、急ぎ懇親会の計画となりました。

三角前支部長（S38年電気）、永田支部長（S42年土木）、豊岡副支部長（S42年建築）、橋副支部長（S46年建築）がお迎えし、橋本 SG 支部長（S45 建築）の「シンガポールよもやま話」のプレゼンテーションの後、懇親会を行いました。



“支部旗” 全国にひるがえる

授与支部一覧		
北海道支部	富山支部	福岡支部
青森支部	石川支部	宮崎支部
岩手支部	福井支部	熊本支部
秋田支部	岐阜支部	佐賀支部
宮城支部	静岡県同窓会	長崎支部
山形支部	愛知支部	鹿児島支部
福島支部	三重支部	沖縄支部
栃木支部	関西支部	清水建設芝浦会
茨城支部	鳥取支部	英交会
群馬支部	島根支部	黒潮会
埼玉支部	広島支部	三芝会
千葉県支部	岡山支部	鹿芝会
東京総支部	山口支部	住芝会
多摩支部	香川支部	機械工学科同窓会
神奈川支部	徳島支部	錬心会
新潟支部	愛媛支部	奥村組芝浦会
長野支部	高知支部	
山梨支部	大分支部	

この支部旗のもとに校友が集い、支部活動の活性化と更なる拡大が期待されています。今、全国総会に於いて52旗目となる支部旗が奥村組芝浦会支部に手渡されました。



校友会 常任幹事会 名簿 (役員を除く) 平成 28 年 6 月 11 日 現在



常任幹事
岡本 嘉行
建築学科 昭和 34 年卒



常任幹事・特別委員
長沢 栄太郎
建築学科 昭和 46 年卒



常任幹事・特別委員
浅見 勝
建築学科 昭和 51 年卒



常任幹事
安藤 脩二
電気工学科 昭和 35 年卒



常任幹事・組織委員
内田 武男
土木工学科 昭和 46 年卒



常任幹事・例規委員
野上 宏明
金属工学科 昭和 51 年卒



常任幹事
中村 宏
土木工学科 昭和 37 年卒



常任幹事・特別委員
井出 恵尉
工業経営学科 昭和 47 年卒



常任幹事
小貫 諭
工業化学専攻 昭和 52 年卒



常任幹事・組織委員
大丸 征史
電子工学科 昭和 39 年卒



常任幹事・財務委員
森川 理
電子工学科 昭和 47 年卒



常任幹事・例規委員
鯨井 武
通信工学科 昭和 54 年卒



常任幹事・事務局長
岩本 行雄
工業化学科 昭和 44 年卒



常任幹事・例規委員
赤井 和憲
土木工学科 昭和 47 年卒



常任幹事・組織委員
犬塚 祥二
建築工学科 昭和 54 年卒



常任幹事・組織委員
清水 修司
建築学科 昭和 44 年卒



常任幹事・組織委員
長井 義明
建築学科 昭和 47 年卒



常任幹事・事業委員
木名瀬 英彰
土木工学科 昭和 54 年卒



常任幹事・総務・広報委員
小平 和一郎
電子工学科 昭和 45 年卒



常任幹事
土屋 賢一
建築工学科 昭和 47 年卒



常任幹事・例規委員
安齋 正博
機械工学第二学科 昭和 55 年卒



常任幹事・組織委員
小野瀬 等
通信工学科 昭和 45 年卒



常任幹事・事業委員
野口 博文
土木工学科 昭和 47 年卒



常任幹事・財務委員
加藤 善次郎
機械工学科 昭和 55 年卒



常任幹事・事業委員
野田 浩
通信工学科 昭和 45 年卒



常任幹事・事業委員
高木 光一
機械工学科 昭和 48 年卒



常任幹事会副議長・事業委員
釜井 重一
建築学科 昭和 55 年卒



常任幹事・特別委員・
在校生就職支援委員
角野 和明
建築学科 昭和 46 年卒



常任幹事・事業委員
斎藤 教男
建築学科 昭和 49 年卒



常任幹事・総務・広報委員
元井 彰
土木工学科 昭和 55 年卒



常任幹事・事業委員
植松 恵一
通信工学科 昭和 46 年卒



常任幹事・事業委員
森本 静
工業経営学科 昭和 50 年卒



常任幹事・総務・広報委員
中根 眞行
工業経営学科 昭和 55 年卒



常任幹事
川越 進
土木工学科 昭和 46 年卒



常任幹事・在校生就職支援委員
小川 達生
通信工学科 昭和 51 年卒



常任幹事会副議長・財務委員
文倉 辰夫
電気工学科 昭和 55 年卒



常任幹事・組織委員
中村 行男
建築学科 昭和 56 年卒



常任幹事・財務委員
刈谷 義治
金属工学科 平成 2 年卒



常任幹事・在校生就職支援委員
伊代田 岳史
土木工学科 平成 9 年卒



常任幹事・事業委員
青木 豊治
機械工学科 昭和 57 年卒



常任幹事・組織委員
吉本 竜也
建築学科 平成 3 年卒



常任幹事・総務・広報委員
中川 雅史
土木工学科 平成 12 年卒



常任幹事・事業委員
長谷川 健嗣
機械工学科 昭和 57 年卒



常任幹事・総務・広報委員
安藤 吉伸
二部電気工学科 平成 4 年卒



常任幹事・総務・広報委員
柏倉 隆行
機械制御システム学科
平成 12 年卒



常任幹事
平井 良樹
工業経営学科 昭和 57 年卒



常任幹事・例規委員
齋藤 敦史
通信工学科 平成 4 年卒



常任幹事・財務委員
野元 明俊
二部電気工学科 平成 12 年卒



常任幹事・特別委員
佐々木 克則
電気工学科 昭和 60 年卒



常任幹事・例規委員
安田 俊司
機械工学第二学科 平成 4 年卒



常任幹事・総務・広報委員
滝下 勇
二部電気設備学科 平成 16 年卒



常任幹事・組織委員
渡辺 通宏
二部機械工学科 昭和 60 年卒



常任幹事・例規委員
山口 正樹
電子工学科 平成 5 年卒



常任幹事・事業委員
西河 洋一
工学マネジメント専攻
平成 21 年卒



常任幹事・総務・広報委員
藤田 利行
電気工学科 昭和 62 年卒



常任幹事・特別委員
新井 剛
金属工学科 平成 7 年卒



常任幹事
福井 幸博
地域環境システム専攻
平成 23 年卒



常任幹事・特別委員
福田 栄寿
機械工学第二学科 平成 1 年卒



常任幹事・事業委員
市川 拓
機械工学第二学科 平成 8 年卒

校友会 相談役・顧問 名簿

平成 28 年 6 月 11 日 現在



顧問・組織委員
滝沢 厚征
建築学科 昭和 39 年卒



顧問・組織委員
岡本 泰明
機械工学科 昭和 41 年卒



顧問・組織委員
雲然 國幸
機械工学第二学科 昭和 41 年卒



顧問・組織委員
田口 継道
建築学科 昭和 39 年卒



顧問・総務・広報委員会
小川 誠
機械工学第二学科 昭和 41 年卒



相談役・組織委員
郡司 卓臣
機械工学科 昭和 43 年卒



顧問・例規委員
今村 均
機械工学科 昭和 40 年卒



相談役・事業委員
金井 昭三
機械工学第二学科 昭和 41 年卒



顧問・事業委員
吉野 巖
機械工学科 昭和 43 年卒

校友会 支部及び支部長紹介

平成 28 年 3 月 31 日現在

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
北海道	高野 義昭	48・土木工学科
青森	木村 喜有	44・土木工学科
岩手	遠藤 龍一	50・建築工学科
秋田	渡邊 淳悦	51・建築学科
宮城	鎌田 正夫	46・建築工学科
山形	川越 進	46・土木工学科
福島	斉藤 敬一郎	34・建築学科
栃木	宇塚 典夫	37・土木工学科
茨城	村田 省吾	43・建築学科
群馬	半田 公作	52・建築工学科
埼玉	吉池 富士夫	51・金属工学科
千葉	金井 昭三	41・機械工学第二学科
東京総支部	大丸 征史	39・電子工学科
多摩	谷川 潮	45・機械工学第二学科
神奈川	安藤 脩二	35・電気工学科
新潟	臼井 静男	48・土木工学科
長野	北村 武彦	45・建築学科
山梨	渡辺 一郎	46・建築工学科
富山	川崎 政善	45・建築学科
石川	西 正次	49・土木工学科
福井	西浦 正三	45・土木工学科
岐阜	平井 良樹	57・工業経営学科
静岡県同窓会	鈴木 和幸	50・土木工学科
愛知	平塚 秀雄	40・電気工学科
三重	谷水 佐久也	50・電子工学科
関西	水口 譲	48・建築学科
鳥取	富本 哲郎	40・電気工学科
岡山	沖本 光昭	45・通信工学科
島根	浅野 正教	45・建築学科
広島	立木 貢	43・土木工学科
山口	河口 英明	45・土木工学科
香川	乾 篤之	45・通信工学科
徳島	宮本 博	47・建築学科
愛媛	高木 二郎	47・建築学科
高知	吉本 哲生	50・土木工学科
大分	河野 元勝	45・土木工学科
福岡	角 敬之	45・工業化学科
宮崎	尾形 彰史	52・建築学科
熊本	永田 昂生	41・土木工学科
佐賀	山田 清人	48・通信工学科
長崎	藤本 博文	61・工業化学科
鹿児島	濱田 英俊	43・電気工学科
沖縄	仲西 聰	56・土木工学科
韓国	金 範得	19・土木工学科

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
台湾	江 文雄	63・機械工学第二学科
タイ王国	川口 祐司	53・工業化学科
上海	秋谷 直信	50・建築学科
シンガポール支部	橋本 雅夫	45・建築学科
MOT 同窓会	西河 洋一	H21・工教社以外職
機械工学科同窓会	高木 光一	48・機械工学科
よろく会	小寺 貴士	46・通信工学科
緑 会	井家 良明	35・建築学科
英交會	浅野 昌宏	44・電子工学科
黒潮會	加藤 善次郎	55・機械工学科
工研会	梅元 千代志	41・電気工学科
錬心會	阿部 安行	45・建築学科
柔道部OB会	早川 金光	51・建築学科
ギター部OB	渋谷 雅信	53・建築学科
芝浦技術士会	大原 武光	37・電気工学科
硬式野球部OB会	前野 和博	46・工業経営学科
TBT(鳥人間)OB・OG同窓会	金田 裕治	H26・機械工学第二学科
ハンドボール部OB会	井出 恵尉	47・工業経営学科
ソフトテニス部OB会	早川 昇	44・建築学科
ヨット部OB会	柴田 真利	59・工業化学科
スキー部OB会	山田 敏明	44・土木工学科
安藤建設芝浦会	不 在	
大林グループ芝浦会	不 在	
奥村組芝浦会	吉本 竜也	H3・建築学科
神奈川県庁	鈴木 祥一	56・土木工学科
川崎市役所	藤倉 茂起	56・土木工学科
関電工芝浦会	鈴木 雅久	56・建築工学科
京 三	片山 雅則	56・電気工学科
熊谷組芝浦会	宮澤 守	H3・建築学科
五洋建設芝浦会	柳 沢 純一	62・建築工学科
三芝會	岩本 毅	63・建築工学科
鹿芝會	増田 孝弘	63・建築工学科
清水建設芝浦会	中村 行男	56・建築学科
住芝會	南山 佳徳	62・電気工学科
大成芝浦会	種元 賢弘	H2・建築学科
ダイダン	近藤 孝	56・建築工学科
大日本土木	長谷川 勝己	56・土木工学科
高砂熱学工業	竹内 祥貴	55・電気工学科
竹中芝浦会	忍 裕司	55・建築学科
戸田建設芝浦会	古越 仁	55・電気工学科
飛島建設芝浦会	不 在	
日比谷芝浦会	岡本 正仁	45・建築学科
フジタ芝浦会	佐々木 茂人	H3・土木工学科
芝友會	中村 信夫	19・機械工学科

校友倶楽部のご案内

芝浦工業大学芝浦校舎の7階にOBが集える場所が校友倶楽部です。開設は、2009年5月11日、今年で7年目を迎えることになりました。皆様のお蔭でここまで来られました。本当に有り難う御座いました。

今の利用状況は、月に平均して15～16回位で利用されています。各年代のクラス会、各職域、各地方支部、各同好会、各委員会等、年間約2,500名が利用されています。

校友倶楽部の正会員は133名、ビジター会員2,000名程です。校友倶楽部は、2部屋に分かれています。ホワイトラウンジ・ブラックラウンジがあり、どちらも使用できます。人数の多い場合はホワイトで、少人数の場合は、ブラックでゆっくりした雰囲気でお楽しみいただけます。是非、各同窓会・クラス会等でのご利用をお待ちしております。

利用方法は、校友倶楽部にお電話か、メールどちらでも結構です。ご連絡下さい。お待ちしております。

☎：03-5445-9646

E-mail：y-nagai@shibaura-koyu.jp

芝浦工業大学校友会 校友倶楽部

支配人 長井義明



[芝浦工業大学校友倶楽部]



[正面]



[ホワイトラウンジ]



[ブラックラウンジ]

HP 新機能紹介

校友会のホームページに機能を追加しました。

「カレンダー機能」

1. システムの目的

予定表示カレンダー機能は、芝浦工業大学校友会のホームページからリンクされているカレンダーに、事務局からのお知らせ、行事予定、支部掲載記事を表示する機能です。

1.1 各 URL

カレンダー、管理ページは以下の URL からアクセスできます。

カレンダー : <http://www.shibaura-koyu.jp/calendar/>

管理ページ : <http://www.shibaura-koyu.jp/admin/>

2. カレンダー表示機能

カレンダーを表示するには、校友会のホームページの最新情報覧のアイコンをクリックする事により表示されます。

2.1 表示仕様

今月を示すセルは、白、今月ではないセルは灰色、予定が登録されていないセルは、ピンクで表示されます。

2.2 各種ボタン

◀ : 表示されている月を前月に切り替えます。

📅 : 表示されている月にかかわらず、今月の表示に切り替えます。

▶ : 表示されている月を翌月に切り替えます。

予定が登録されているセル : 予定が登録されているセルをクリックすると、予定内容の詳細表示画面に移動します。詳細画面は、別ウインドまたは別タブ（ブラウザの設定に依存します）に表示されますので必要なくなった場合は、ブラウザの閉じるボタンで閉じて下さい。



「ファイル共有機能」

1. システムの目的

ファイル共有機能は、芝浦工業大学校友会各支部毎の文書データ、名簿、その他資料などをセキュリティに保護されたエリアにて共有する機能です。

1.1 各 URL

管理ページは以下の URL からアクセスできます。

管理ページ : <http://www.shibaura-koyu.jp/admin/>



2. 管理画面

管理画面 URL から管理画面にアクセスすると、ユーザー名とパスワードの入力が要求されますので、予め本部、支部に割り当てられたユーザー名、パスワードを入力してください。

2.1 右は支部のアカウントでログインした場合の画面です。



2.2 新規登録画面を以下に示します。

支部 : ログインした本部、支部名が表示されます。入力はありません。

更新日時 : 新規登録または、更新した日にちを選択します。

種別 : 校友会会員名簿、支部総会資料、会計帳簿、写真、その他から一つを選択します。

ファイル : アップロードするファイルを入力します。
アップロードできるファイルは、32M以下で、PDF、Office 関連ファイル、Jpeg、PNG です。

コメント : 検索に必要なキーワードを含むコメントを入れて下さい。

以上の入力が完了しましたら、確認ボタンをクリックします。

登録内容を破棄したい場合は、取り消しボタンをクリックします。



その他対応項目

校友会総務委員会では、会員の要望による取り込みと併せより円滑で効率の良い組織運営を目指して対応しております。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

(総務・広報委員一同)

卒業生の皆様へ

資格取得講座の御案内

芝浦工業大学校友会では、日建学院と提携し資格取得講座への紹介を行っております。校友会を通して申し込むと、通常価格より安く受講できますので、スキルアップやキャリアアップに是非お役立て下さい。

受講できる講座は日建学院が提供している講座5種です。これはWEB 講座でインターネットを使用した動画による講義(個別コース)と通学による講義(通学コース)です。講義の内容はこの講座用に企画し、吟味されているものですので講師による不得手などが排除されており、効率的な学習により効果が期待できます。また、WEB 講義は、通学が難しい地方や海外勤務の方でも受講可能です。(※事前に体験版で動作確認下さい)

◎提供する講座

- 1級建築士学科(Web)講座(個別コース)
- 2級建築士学科(Web)講座(個別コース)
- 宅地建物取引士(Web)講座(個別コース)
- 1級建築士学科 本科講座(通学コース)
- 1級建築施工学科 講座(通学コース)

一般学費(税別)

300,000円 ⇒
300,000円 ⇒
100,000円 ⇒
500,000円 ⇒
250,000円 ⇒

校友会特別学費(税別)

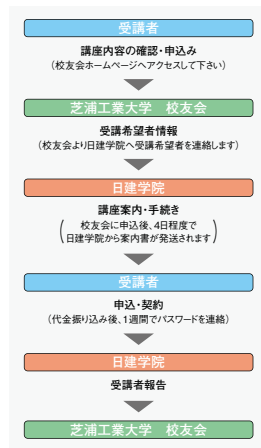
150,000円(28年受験)
142,000円(28年受験)
80,000円(28年受験)
428,000円(28年受験)
209,000円(28年受験)

◎講座内容

- 講座内容は日建学院ホームページでも確認できます。
- 日建学院ホームページ
<http://www.ksknet.co.jp/nikken/>



◎案内から申込みまで



◎申込方法

- 校友会ホームページ上から必要事項を記入しお申込下さい。
校友会ホームページ <http://www.shibaura-koyu.jp/>
- 校友会にお申込後 4 日程度で日建学院から案内書が発送されます。
- 代金振り込み後、1 週間でパスワードが通知されます。

ご不明な点は校友会事務局にお問い合わせください

芝浦工業大学 校友会
事務局

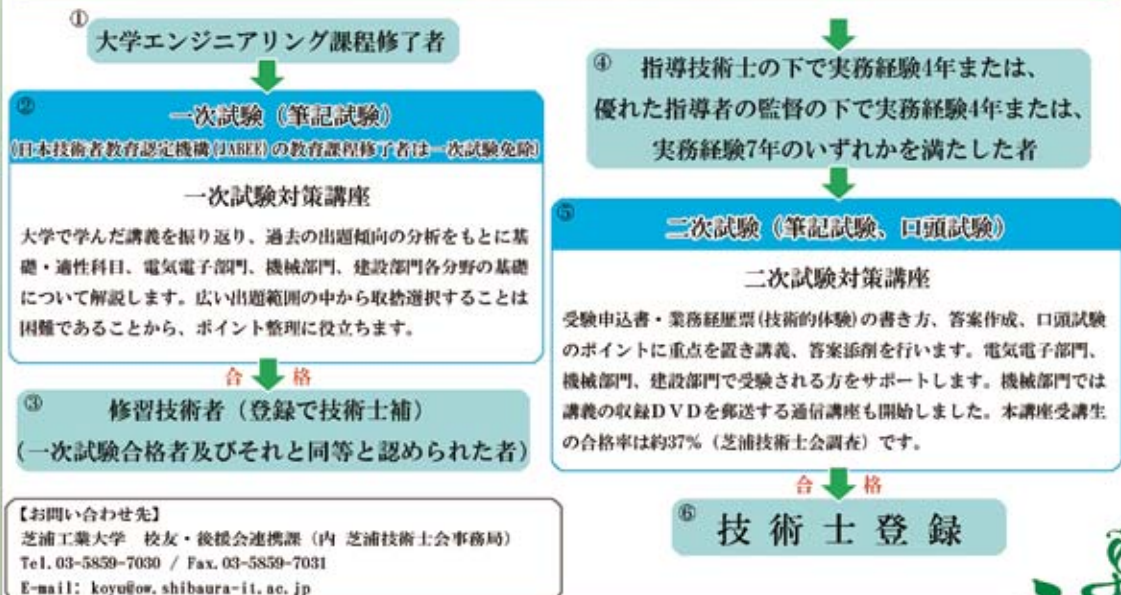
〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
TEL:(03)5445-9634 FAX:(03)5445-9635
E-mail:sitfriends@shibaura-koyu.jp

技術士試験対策講座のご案内

本講座は、技術士試験受験者の合格サポートを目的としています。
他に類を見ない特別料金で芝浦工業大学の教員が合格を全力サポートしています。



技術士資格取得へのプロセス



御寄付の御礼

芝浦工業大学校友会支援のため御寄付を賜りました。ご支援頂き誠にありがとうございます。

寄付者一覧 (敬称略)

金子 伸一	稲葉 繁夫	特別委員一同
関谷 重敏	福島支部一同	昭和42年電子工学科卒有志一同

絵画御寄贈の御礼

校友会に卒業生関係者の方より絵画の寄贈を賜りました。皆様のご厚意に感謝いたします。

絵画は芝浦校舎7階 校友倶楽部に展示させていただきました。



作者プロフィール

画家 大坪 穰



経歴

- 1926年 長崎にて出生
- 1932年 東京に移転
- 1944年 芝浦工業大学卒業
- 1944～1945年 (株) 萱場製作所
- 1945～1994年 宇野沢組鐵工所 (本社)
- 1970年 県展 入選 入賞
- 1972年 都民美術 入選 会員
- 1973年 朔日会 入選 準会員
- 1975年 一陽会 連続入選
- 1977年 第一美術協会 入選
- 1980年 // 準会員
- 1983年 // 正会員
- 2016年 // 正会員 大坪穰 90歳





皆様のご協力と、ご厚志に深く御礼申し上げます。

芝浦工業大学オリジナルグッズのご紹介

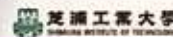
★ SHIBAURA ORIGINAL GOODS ★

● 芝浦オリジナルグッズがリニューアル！

芝浦工業大学の「校章」をモチーフとしたオリジナルグッズが装いを新たに完成しました。
大学生協にて随時販売しております。来校のご記念、お土産等に是非お買い求めください。

	<ul style="list-style-type: none"> ・マグカップ (750円) ・湯飲み (700円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・各種ボールペン ・各種シャープペン <p>(各100円)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・クッキー小箱 (700円) ・クッキー大箱 (1,400円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・各種クリアファイル <p>(各130円)</p>	

- グッズは豊洲・大宮キャンパスで好評販売中！
- こちらでご紹介している商品の他にも、大学グッズをご用意しております。



校友会「会員名簿」2016年発刊について

校友会では、会員同士の連絡を取り易くすることが会員各位のお仕事や同好活動に役立ち、いずれ会員組織の活性化に繋がるとの考えのもとに、2006年に会員名簿を制作し販売してまいりました。その後この名簿を補完する形で毎年新卒者の名簿を制作しております。

2016年は最初の発刊から10年経ちましたので、過去の分も含めて新規に名簿を発刊いたします。

《ご利用について》

2006年に発刊した名簿は従来の卒年、学科単位の名簿ではなく、各県別、郵便番号順に編集したものです。

このため、各市町村にどのような会員（卒業生）がおられるか、また、お勤めの会社にどのような先輩、後輩がおられるか把握でき、会員同士の繋がりと、利用し易さを目指し編集したものです。今回も同じ形式で編集いたします。

なお追補版についてはいずれも編集時間の関係から学科別掲載とさせていただきます。

《名簿への通し番号の付与について》

名簿の販売については個人情報保護法の精神を尊重するため一つの方法として全ての名簿に通し番号を付し、販売先が確認できるようにしました。是非、個人の利用のみに留めて頂きたいと考えております。

《名簿の販売について》

名簿の販売は1冊5,000円です。追補版のみご希望の方には1冊500円で販売しております。名簿購入ご希望の方は「名簿記入」と記入し、氏名、卒年、学科および送付先を明記し左記口座にご送金ください。ご入金確認後、発送いたします。振込用紙をご希望の方は事務局までご連絡ください。

また購入に関するご質問は記載の校友会事務局までお問い合わせください。

- 名簿代金振込先
郵便局 加入者名：芝浦工業大学校友会
口座番号：00160-5-9575
- 名簿の購入に関するお問合せ
【芝浦工業大学校友会事務局】
〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目9番14号 芝浦工業大学内
TEL：03-5445-9634 FAX：03-5445-9635
E-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp
- 住所変更等に関するお問合せ
【学校法人芝浦工業大学 校友・後援会連携課】
〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14
TEL 03-6722-2910 FAX 03-6722-2911
E-mail：koyu@ow.shibaura-it.ac.jp

会員名簿
2016
(作成中)

◀ 5,000円
(送料込)

在校生就職支援ご協力をお願い

かねてより各支部から芝浦工業大学の学生が自社にほしいとのご要望を頂いておりました。それを受け、校友会執行部に「在校生就職支援委員会」を立ちあげました。芝浦は就職率が高い大学ですが、就職率100%にはまだ至っていません。全国卒業生の関連企業の皆様に、求人のご協力をお願い致します。12月以降の採用もご検討いただけるような、中小問わず企業の校友皆様へご協力をお願い申し上げます。

具体的な流れとしては、以下になります。

- 1、校友会ホームページから「求人申込書」をダウンロード、記入
- 2、校友会事務局へ提出
- 3、校友会事務局が大学の就職担当者へ提出
- 4、学生の希望があった場合、校友会事務局から企業担当者へ連絡
- 5、学生と企業で出願、選考
- 6、結果を校友会事務局へ連絡

即希望に添えるとは限りませんが、ひろく学生にPRをしたいと考えております。何卒ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

尚、平成28年3月現在、校友会を通した求人企業数は「約120社」でした。そのうち、内定者は9名でした。全国の関係者の皆様、本当にありがとうございました。

求人申込書：<http://www.shibaura-koyu.jp/renraku/info.php?id=78>
 送付先：〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
 E-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp
 T e l : (03) 5445-9634 F a x : (03) 5445-9635

編集者・協力者 一覧

順不同、敬称略

◆編集者

芝浦工業大学校友会 総務委員会

林田 和雄 (昭和52年 建築学科卒)
 小平和一郎 (昭和45年 電子工学科卒)
 藤田 利行 (昭和62年 電気工学科卒)
 中根 眞行 (昭和55年 工業経営学科卒)
 元井 彰 (昭和55年 土木工学科卒)
 安藤 吉伸 (平成4年 二部電気工学科卒)
 柏倉 隆行 (平成12年 機械制御システム学科卒)
 中川 雅史 (平成12年 土木工学科卒)
 滝下 勇 (平成16年 二部電気設備学科卒)
 顧問 小川 誠 (昭和41年 機械工学第二学科卒)

校友会事務局

岩本 行雄 (昭和44年 工業化学科卒)
 田口 侑子 ・ 中根 瑛里

◆協力者

大原 武光 (昭和37年 電気工学科卒)
 柴田 順二 (昭和40年 機械工学第二学科卒)
 伊藤 博之 (平成2年 工業化学科卒)
 峯村 高志 (平成3年 二部電気工学科卒)
 芝浦工業大学

◆表紙デザイン

三島 圭人 (建築工学専攻 2年生 郷田修身 研究室)

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

一年で東京ドーム
120個分の面積に
家を建てる会社。



分譲住宅、日本一^{※2}

IG 飯田グループホールディングス

代表取締役社長 **西河 洋一**

〒163-0246 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル46階
tel 03-5989-0923 <http://www.ighd.co.jp>

※1 当社が2014年度に生産した住宅の総土地面積を東京ドーム面積で除して算出
※2 分譲戸建住宅市場におけるシェア(2014年4月1日～2015年3月31日 住宅産業研究所調べ)

ファサードエンジニアリングのリーディングカンパニー

AGB 旭ビルウォール株式会社

URL <http://www.agb.co.jp>

相談役
校友会会長 **鈴木 健夫** (S45 建築)

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-3-5 JPR 上野イーストビル 8階
TEL.03-5806-3110 FAX.03-5806-9688

いい仕事には、体温がある。



代表取締役 **小川 達生**
(昭和51年 通信卒)

株式会社 **日新コンピュータシステム**

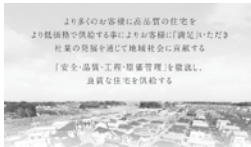
〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
TEL 03-5802-0321
FAX 03-5802-0322
URL <http://www.nisin.co.jp/>



東西化学産業株式会社

本社/〒540-6118 大阪市中央区城見2-1-61
(ツイン21MIDタワー18階)
TEL.(06)6947-5511 FAX.(06)6947-5510

一建設株式会社



代表取締役社長 **堀口 忠美**

東京都練馬区石神井町2-26-11
TEL 03-5393-3071
URL <http://www.hajime-kensetsu.co.jp>

株式会社 **飯田産業**



代表取締役社長 **兼井 雅史**

東京都武蔵野市境2-2-2
TEL 0422-36-8848
URL <http://www.iidasangyo.co.jp>

B-stem

人々が快適に生活できる
施設環境をプロデュースする

総合ビルメンテナンス

株式会社 リリマビシステム

代表取締役社長 **鴻 義久**(昭和47年 土木工学科卒)

本社
〒220-8116
横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー16階
TEL:045-224-3550(代表)

東京本部
〒111-0053
東京都台東区浅草橋5-20-8
CSタワー10階
TEL:03-5820-5300(代表)

<http://www.bstem.co.jp>

株式会社 **東栄住宅**



代表取締役社長 **西野 弘**

東京都西東京市芝久保町4-26-3
TEL 042-463-0220
URL <http://www.touei.co.jp>

タクトホーム株式会社



代表取締役社長 **小寺 一裕**

東京都西東京市東伏見3-6-19
TEL 042-464-8788
URL <http://www.tacthome.co.jp>



芝浦工業大学柏中学高等学校
フィールド冷却細霧システム導入

NTS日本体育施設

〒164-0003 東京都中野区東中野3-20-10
TEL.03-5337-2611 FAX.03-5337-2610

SANKEN

空気と水の環境創造企業
三建設備工業

本社 東京都中央区新川1-17-21
TEL 03 (6280) 2561
URL <http://skk.jp/>

ArnestOne 株式会社 **アーネストワン**



代表取締役社長 **松林 重行**

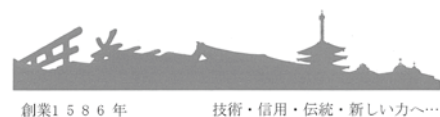
東京都西東京市北原町3-2-22
TEL 042-461-6288
URL <http://www.arnest1.co.jp>

アイディホーム株式会社



代表取締役社長 **久林 欣也**

東京都西東京市西原町1-4-1
TEL 042-451-8868
URL <http://www.idhome.co.jp>



松井建設株式会社

〒104-8281 東京都中央区新川1丁目17-22
TEL : 本社 (03)3553-1150 東京支店 (03)3553-1171
ホームページ <http://www.matsui-ken.co.jp/>



戸田建設グループ
株式会社アベックエンジニアリング


代表取締役社長 **神野 兼次**
(校友会 副会長)

本社：〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-11-7 東通ビル 2F
TEL 048-650-7770 FAX 048-650-5533
E-mail: k.jinno@apec.cc
東京本部：〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-6-1 八丁堀センタービル 4F
TEL 03-6222-2830 FAX 03-6222-2840

有限会社 ワンダー電機製作所

代表取締役
畠中 總一郎

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池部町 4691
TEL: 045-482-4916 FAX: 045-482-4917
E-mail: bz956087@bz03.plala.or.jp



業務用酒類食材卸
宮内庁御用達
享保2年(1717年)創業

株式会社 **ぬ利彦**

代表取締役 九代目 中澤彦七
東京都中央区京橋2丁目9番2号
電話 (3535) 5311 (代表)



株式会社富士工

おかげさまで 70 周年

「まごころで創る」を礎に
お客様のご要望にお応えします

代表取締役社長 井上 恵資

〒141-0022 東京都品川区東五反田一丁目22番1号
<http://www.fujiko-hp.co.jp/>

能美防災は今年、
創立100周年を迎えました。



NOHMI 能美防災

防災機器の研究開発から機器の生産、施工、メンテナンスまで、
トータルな防災システムをご提案しています。

代表取締役社長 藤井 清隆 (昭和49年 工学部機械工学第二学科卒)
専務取締役 内山 順 (昭和46年 工学部工業化学科卒)

本社：〒102-8277 千代田区九段南4-7-3 TEL. (03) 3265-0211
<http://www.nohmi.co.jp/>

想像を、チカラに。




人が想像できることは、必ず人が実現できる。鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in鹿島

五 期 会
(昭和32年機械工学科卒業)

幹事 **冷泉 弘之** 幹事 **稲葉 雄**

〒154-0017 〒143-0024
東京都世田谷区世田谷 2-26-21 東京都大田区中央 8-39-2
イトーピア 205 ハイマート富士 503



三井住友建設
<http://www.smcon.co.jp/>

**はしも、
まちも、
ひとも。**

橋をわたり、街をあるき、大切な人とすこす。
そんな日々のくらしがいつまでも続くよう、
豊かな未来につながるものづくりに全力で取り組みます。

変わり続けるDNA




⑨ 六興電気株式会社
代表執行役社長 長江 洋一

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 / TEL:03-3459-3366 / URL:<http://www.6kou.co.jp>



人と地球の窮乏のために。

信頼に応える 確かな技術



大豊建設株式会社

代表取締役社長 水島 久尾
(昭和43年土木卒)

〒104-8289 東京都中央区新川1-24-4 TEL 03-3297-7000

祝 芝浦工業大学校友会全国総会

各種技術系人材

芝浦工大人材バンク 登録受付中

事務系人材

お仕事紹介・転職支援をお手伝いします

営業系人材

URL:<http://www.sitech-jp.com/recruit.php>

お問い合わせ先:人材開発部:松井
03-5859-7946



学校法人 芝浦工業大学 事業法人
株式会社エスアイテック
代表取締役 鈴木 健夫

緑化事業を通じて
就労支援を行っております



株式会社アカネ

代表取締役 金子 和平
(昭和44年 経営工学科卒)

<http://akane-green.co.jp>

激変するビジネスシーンを
勝ち抜くために欠くことの
できない「確かな情報」を
いち早くお届けします—

日刊建設工業新聞

お申し込みは
<http://www.decn.co.jp/>

日刊建設工業新聞社 事業局 販売開発部
〒105-0021 東京都港区東新橋 2-2-10 村松ビル 2F
tel.03-3433-7152
fax.03-3431-6301

株式会社
TAW建築設計事務所



代表取締役 渡辺 碩
校友会 監査役
昭和45年建築学科卒

〒111-0042
東京都台東区寿2-8-11 大黒ビル5F
TEL:03-3841-7368 FAX:03-3841-7107
E-mail: taw@mvd.biglobe.ne.jp

代表取締役

泉澤 定雄

(昭和46年 建築学科卒)



有限会社

藍 建築工房

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町3-21-7
熊谷ビル 3F
TEL 03-5825-6118
FAX 03-5825-6119



PÂTISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

株式会社 原田

代表取締役 原田 義人

〒370-1301 群馬県高崎市新町1207
TEL 0274-40-3331 FAX 0274-40-3341

空気調和・給排水・冷凍冷蔵
設備の設計・施工・保守



〒143-0023 東京都大田区山王2丁目5番9号

TEL 03-6429-3600

不二熱学工業株式会社

(株)宮建築設計

代表取締役 宮本 博

昭和47年卒 建築学科
(校友会 徳島県支部長)

本社:徳島市福島1-5-6 TEL:088-625-5505
東京本店:東京都中央区八丁堀2-28-10 TEL:03-6280-3305
<http://www.miyasekkei.com>
E-mail: miyamoto@miyasekkei.com

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

LIXIL

Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の
未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL <http://www.lixil.co.jp/>

伝動機器、装置専門商社
「椿本チエイン」グループ会社



株式会社 椿本マシナリー

代表取締役社長 近藤正人
(昭和46年機械工学第二学科卒)

〒550-0011 大阪市西区阿波座1-3-15
TEL: 06-4390-0050
<http://www.tsubakimoto.jp/tmc/>

道からはじまる街づくり



日本道路

〒105-0004 東京都港区新橋1丁目6番5号 TEL:03-3571-4893
<http://www.nipponroad.co.jp/>

技術経営人財の育成と活用



一般財団法人

アーネスト育成財団

理事長 西河 洋一 (平成21年大学院 MOT 修了)
専務理事 小平 和一朗 (昭和45年電子工学科卒業)
理事 浅野 昌宏 (昭和44年電子工学科卒業)
評議員 柴田 智宏 (平成17年大学院 MOT 修了)
顧問 吉久保 誠一 (昭和39年機械工学科卒業)

東京都渋谷区代々木1-57-2 704号 TEL(03)6276-6260 <http://www.eufd.org>

ミクロの精度を追求する電子部品メーカー



株式会社 エノモト

代表取締役社長 武内 延公 (昭和53年機械工学第二学科卒)
<http://www.enomoto.co.jp>

<p>電気設備の設計から施工まで 創業大正12年(1923年)</p> <p>三興電気株式会社 代表取締役 吉田聡 東京都中央区銀座7-13-5 電話 03-3547-5980</p>	<p>JRいわき駅より徒歩1分</p> <p>HOTEL IWAKI</p> <p>〒970-8026 福島県いわき市平字白銀町8-9 TEL 0246-23-3188 FAX 0246-23-3128 HPからのご予約 http://www.hotel-iwaki.com/</p>	<p> 地質調査・環境調査</p> <p>株式会社 アースリサーチ</p> <p>代表取締役 富山 光行 (昭和45年土木卒)</p> <p>本社 〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島5-21-13 TEL 048-844-8651 FAX 048-844-8655 URL http://www.earth-r.com/</p> <p>東京支店・水戸営業所・南埼玉営業所・川口営業所</p>	<p>建築・土木・建築設計 横沢建設株式会社</p> <p>代表取締役 奥 浩一 (昭和51年 建築工学科卒)</p> <p>東京都府中市府中町1-16-4 TEL 042-366-3755 URL http://www.yokozawa-k.jp E-mail:info@yokozawa-k.jp</p>
<p> 世界初の多能式自動券売機を開発 (日本機械学会 機械遺産「第50号」認定) 交通システム機器のパイオニア</p> <p>株式会社 高見沢サマパネテックス 代表取締役社長 高見澤 和夫</p> <p>〒164-0011 東京都中野区中央2丁目4番5号 TEL 03-3227-3361 URL http://www.tacy.co.jp</p>	<p>IMA株式会社 IMA建築設計事務所</p> <p></p> <p>滝野川：〒114-0023 東京都北区滝野川17-22-6 IMAビル6F TEL 03-5567-2222 FAX 03-5567-2221 URL : http://www.ima-a.co.jp/</p>	<p>芝浦工業大学 全国校友会</p> <p> HOTEL East 21 TOKYO オークラホテルズ & リゾーツ ホテル イースト21東京</p> <p>〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3 TEL.03-5683-5683</p>	<p>地球環境を大切に する 日本環境設計</p> <p>校友会 選挙管理委員 代表取締役社長 加藤 善次郎 (昭和55年機械卒)</p> <p>〒231-0028 横浜市中区翁町2-9 ファム横浜本社ビル5階 TEL (045) 212-2757 (代) FAX (045) 212-2758</p>
<p></p> <p>TODA Group Global Vision</p> <p>“喜び”を実現する企業グループ</p> <p> 戸田建設</p>	<p>おかげさまで半世紀</p> <p>フリー工業株式会社 代表取締役 長岡 信玄 【昭和41年卒 土木工学科】</p> <p>「安全」・「環境」・「景観」を守る これからは PCW工法 www.free-kogyo.co.jp</p>	<p>平成26年度 省エネ大賞(製品・ビジネスモデル部門) E3ロード(大雪・大雨・ヒートアイランド防災対応)</p> <p>道路・歩道に吹き出し </p> <p>株式会社ホクスイ設計コンサル URL: www.hokusui-p.com 〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西9丁目2番地 TEL 011-737-6232 FAX 011-708-5286 代表取締役 高野義昭 (昭和48年 土木工学科)</p>	
<p>消防機器の総合メーカー</p> <p></p> <p>東京サイレン株式会社 東京都台東区上野3-17-5 http://tokyo-siren.co.jp</p>	<p>Quality gives priority to all 白石建設株式会社</p> <p>いい建築ってなんだろう? </p> <p>〒166-8540 東京都杉並区高円寺南4-15-11 TEL: 03-3314-1101(代表)</p> <p>http://www.shiraishi-ken.co.jp</p>		
<p>最適環境空間を最新の技術でお届け致します。</p> <p> 三宝電機株式会社 SANPO URL: http://www.seamec.co.jp</p> <p>各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等 総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス</p> <p>東京都港区西新橋3-8-3ランディック新橋ビル5F TEL.03-5472-3311</p>	<p></p> <p>80年の歴史を誇る セラミックスのエキスパート</p> <p>大平洋ランダム(株)</p> <p>富山市岩瀬赤田町1番地 Tel 076-438-1211 Fax 076-438-8667</p>	<p>快適な環境づくりに 確かな技術で貢献する</p> <p> 住友電設株式会社</p> <p>取締役社長 磯部 正人 http://www.sem.co.jp/</p>	<p>総合建設業</p> <p> 株式会社 鈴木組</p> <p>代表取締役 村田哲也 (本校卒業生)</p> <p>〒432-8047 静岡県浜松市中区神田町1522番地</p>

建物を育て 未来へつなぐ

ハートフル♥エンジニアリング
株式会社 アサヒ ファシリティズ
 建物総合管理事業 / 不動産事業 / 保険代理事業

取締役社長 **林 誠**
 (昭和47年卒 建築工学科)



〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目5番14号 TEL.(03)5683-1181 URL: <http://asahifm.com/>

未来につなぐ確かな道づくり
戸田道路株式会社

代表取締役社長 **高塚 祥一郎**

住所: 東京都中央区日本橋一丁目12番8号
 Tel : 03-3278-8051
 Fax : 03-3273-6216
 URL : <http://www.toda-road.co.jp>

JINNO
 support your comfortable space
www.jinno.sala.jp

愛知県豊橋市神野新田町字コノ割9番地の1
神野建設株式会社
 TEL(0532)32-1021 FAX(0532)32-7396



次の100年に向け、技術とともに歩む。

東光電気工事株式会社
 TOKO ELECTRICAL CONSTRUCTION CO., LTD.

取締役社長 **馬田 榮**

- 内線事業 ●外線事業 ●新エネルギー事業
- 空調・衛生事業 ●海外事業 ●事業開発

本社 〒101-8350 東京都千代田区西神田1丁目4番5号 TEL (03)3292-2111
<http://www.tokodenko.co.jp/>

UCHIDA

顧問

向井 眞一 (芝浦工業大学評議員)

株式会社 **内田洋行** 〒104-8282 東京都中央区新川2-4-7 03-3555-4072

総合建築・耐震・リニューアル・専門工事

中島建工株式会社

代表取締役 **中島 道宏**

埼玉県さいたま市浦和区領家5-12-20
 TEL 048-886-8877

<http://www.nakajimakenko.co.jp/>



丸大食品のギフトは、どなたにも喜ばれます。▶

お歳暮・お中元の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝
 御礼・内祝・快気祝等、いつでもご利用いただけます。

丸大食品株式会社 東日本特販営業課
 〒135-0051 東京都江東区枝川2-23-2
 TEL03(3647)3270 FAX03(3647)3274

ITOKI

人も生き生き、地球も生き生き—ユーデコスタイル

Ud & Eco style

株式会社イトキ

東京都中央区入船3-2-10 〒104-0042
 お客様相談センター ☎0120-164177 URL <http://www.itoki.jp/>

街づくり 人づくりで
 地域社会に役立つ澤田グループ



澤田建設株式会社

代表取締役社長 **澤田 健規**

〒747-0054 山口県防府市開出西町23番7号
 TEL0835-22-2634 <http://www.sawata.com/>

天・地・人を熟知し、環境をつくる。



MARUNISHI

株式会社 **丸西組**

代表取締役社長 **西 正次** (昭和49年卒業)
 〒923-0811 石川県小松市白江町121-1
 TEL (0761)22-6100 FAX (0761)22-6123
 front@marunishigumi.co.jp
<http://www.marunishigumi.co.jp>



夢から未来を始めよう。



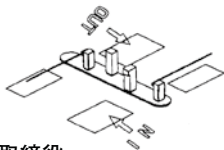
子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

シミズ・ドリーム 検索

駐車場システム機器のご用命は

株式会社 **カズサッポロ**
 (日本信号株式会社代理店)



代表取締役

小川 博司 (S45年工業経営)
 〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条1丁目7番19号
 TEL (011) 853-5152 FAX (011) 853-5454

**BADGE & MEDAL
 FACTORY**
 NAKAJIMA KISHO Co.Ltd.

since 1918

有限会社 **中島徽章**
 代表取締役 **中島 博行**
 (昭和60年 金属科卒)

〒111-0036 東京都台東区松が谷2-16-3
 EL 03-3844-2207 Fax 03-3845-5005
<http://members2.jcom.home.ne.jp/n-kisho/>



さらなる安心と信頼のために大きく生まれ変わりました。

私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいります。

野村不動産パートナーズ

〒163-0562 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
新宿野村ビル8階
教育施設事業部 TEL03(3345)0672
<http://www.nomura-pt.co.jp>

集いと学び空間をデザインする

axona AICHI

愛知株式会社

東京：東京都中央区新川1-17-25
東茅場町有楽ビル1F
本社：愛知県名古屋市中区筒井3-27-25
<http://www.axona-aichi.com>



大地とともに歩む
三井建道路

THE WAY TO THE FUTURE

三井建道路株式会社
代表取締役社長 松井隆幸
TEL 03-3807-9003

三井建道路は高い技術力により、品質・建設費の両立を実現し、社会に貢献しています。



不動産建設芝浦会

当会は我が芝浦工業大学出身者の、不動産業及び建設業に関わりのある方々の親睦を図り、情報交換・研修活動等を通じて社会ならびに母校に貢献する事を目的として、平成26年6月2日に発足しました。



平成26年6月2日発足会にて

代表世話人 清水修司 (S44年 建築学科卒) (株)SD建築企画研究所 代表取締役)

当会では入会希望者を募集しています。
ご興味がある方は是非下記事務局準備室までご連絡ください。

事務局準備室 TEL 03-3485-1111 (株)SD建築企画研究所内)

創業大正十三年 **正直屋** グループ

Joyous Life

パーティ、高級仕出し、会議用弁当は正直屋におまかせください!

●ご注文・お問い合わせは

東京正直屋
TEL 0120-33-1171


<http://www.shojikiya.co.jp/>

酒・食品 自家製惣菜

みなとや Minatoya

芝浦 3-11-8
年中無休 FAX 5232-5129 ☎3453-3718

長州萩の美酒 長陽福娘



岩崎酒造株式会社
代表取締役 岩崎喜一郎
山口県萩市大字東田町 58 番地
TEL0838-22-0024

私達におまかせください




スクールアシスタント
学校
SE/CE
コールセンター

<http://www.fujielectric.co.jp/fs/>

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-15-12
Tel: 03-5817-5754 FAX: 03-5817-5758
e-mail: x-edu-info@fujielectric.com

富士電機ITソリューション株式会社

山形の手作りの地酒



朝日川酒造株式会社

山形県西村山郡河北町谷地乙93

人が集うところに、コトブキのイスがあります。

K*O*T*O*B*U*K*I



コトブキシーティング株式会社
東京都千代田区神田駿河台1-2-1
www.kotobuki-seating.co.jp

KOKUYO

ひらめき・はかどり・こちよさ

ココヨマーケティング株式会社
〒108-8710
東京都港区港南 1-8-35



プリンターの新領域をひらく

理想科学工業株式会社
理想浅草支店
〒130-0026 墨田区両国1-12-8 両国ミナビル8F
TEL: 043-5624-5775 FAX: 03-5624-5776

「校友倶楽部」が7周年を迎えました!

皆様の一層のご利用を心よりお待ちしております。



【ホワイトラウンジ】



【ブラックラウンジ】

芝浦工業大学校歌 CD の販売



「曲目」

1. 芝浦工業大学校歌
2. 応援歌
3. 校歌演奏

指揮：金 洪才
 独唱：望月哲也
 演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団

校歌：作曲・山田耕作
 作詞・北原白秋

●名簿、CD に関するお問い合わせ先

【芝浦工業大学校友会】

〒108-0023

東京都港区芝浦 3-9-14 芝浦工業大学内

TEL03-5445-9634 FAX03-5445-9635

e-mail : sitfriends@shibaura-koyu.jp

●振込先

郵便局：加入者名：芝浦工業大学校友会

口座番号：00160-5-9575

芝浦工業大学校歌

山田耕筈 作曲
 北原白秋 作詞

一、朝日に輝く 風と潮

雄大空あり 雲は移る

仰げよ校旗の 翩翩たるを

白亜の殿堂 ここに聳え

われらが工学 英気鐘む

芝浦 芝浦 我等が母校

二、世紀に脈うつ 熱と理性

剛健矩あり 常に鍛う

行えほがらに 澆刺たれや

師弟の純情 一に依りて

磨くにこの技 神に通ず

芝浦 芝浦 吾等が母校

三、永遠に栄ゆく 意志と秩序

誠実ただあり 道は徹る

夢むな空理の 漠々たるを

精微のきわめて 事に即かば

工学日本 大を成さん

芝浦 芝浦 吾等が母校



芝浦工業大学 校友会